

設 計 図 書  
(特記仕様書・位置図・工事数量総括表)

令和 8 年度施行

帯広の森園路整備工事（西11～12号間）

---

北海道帯広市

特 記 仕 様 書

特 記 仕 様 書

北 海 道 帯 広 市

( 都 市 環 境 部 環 境 室 み ど り の 課 )

# 目 次

- 1 適用
- 2 土木工事積算基準等
- 3 概数
- ~~4 参考図~~
- 5 積算情報
- ~~6 施工条件の明示~~
- 7 施工計画書の作成
- 8 交通規制及び安全対策
- 9 安全訓練等の報告
- ~~10 用地境界標（杭）の取り扱い~~
- 11 段階確認事項
- 12 工事図面・工事写真の電子化
- 13 電子媒体
- ~~14 共同企業体編成表~~
- 15 工事材料品質確認願
- 16 完成届
- ~~17 路面樹等の施工~~
- ~~18 再生アスファルト混合物~~
- ~~19 アスファルト乳剤~~
- 20 コンクリート再生骨材
- ~~21 石材~~
- ~~22 マルチング材~~
- 23 建設副産物（建設発生土）
- 24 建設副産物（伐採・抜根・すき取り・抜開物等）
- ~~25 特定建設資材廃棄物の処理について~~
- ~~26 CCA防腐処理木製品の適切な処理について~~
- ~~27 工事現場発生品~~
- ~~28 樹木~~
- ~~29 植生客土（購入）~~
- 30 植生工
- 31 生芝
- 32 土系舗装工
- 33 地上地下の既設公共施設の被害防止について
- ~~34 北海道循環資源利用促進税について~~
- 35 工事保険の加入について
- 36 技能士の活用について
- 37 成果品等の貸与
- ~~38 除雪工~~
- 39 工事成果品収納箱
- 40 現場環境改善費について

- 41 1日未満で完了する作業の積算について
- ~~42 施工歩掛について~~
- ~~43 ボルト・ナット等の締め付け~~
- ~~44 建築基準法による確認済証の表示~~
- ~~45 照明灯~~
- ~~46 保証書綴~~
- ~~47 取扱説明書~~
- ~~48 諸官庁申請手続き報告書~~
- 49 公園台帳
- ~~50 生コンクリート~~
- 51 週休2日工事の実施について
- ~~52 電子納品・情報共有（試行）~~
- 53 その他

## 様 式

・ 施工計画書	・ 送電線路付近工事協議書
・ 工事看板記載仕様	・ 技能士活用状況報告書
・ 工事施工協議簿	・ 社内完成検査報告書
・ 履行報告書	・ 借受書
・ 境界杭立会確認書 一覧表	・ 返納書
・ 境界杭立会確認書	・ 建築物等立会確認書
・ 段階確認願	・ 産業廃棄物管理票(マニフェスト)総括表
・ 共同企業体編成表	・ 施工体制報告書
・ 工事材料品質確認願	・ 伐採枝・幹材搬入伝票
・ 再生骨材の出荷確認について	・ 立会願
・ 現場発生品調書	・ 施工実績
・ 建設発生土受入契約書	・ 建築基準法による確認済証
・ 発生土受入証明書	・ 木材使用状況報告書
・ 再資源化等報告書	・ 公園台帳作成例
・ 再生資源利用促進計画の作成に伴う	・ ライフサイクルコスト調書
・ 確認結果票	・ 種子散布工配合書
・ 土壌汚染対策法等手続の確認フロー	
・ 指定機械一覧	
・ 排出ガス対策型建設機械を使用できない理由書	

## 1 適用

本工事は、北海道建設部監修「土木工事共通仕様書（最新版）」（以下「共通仕様書」という。）に基づき施工するものとする。  
また、「設計図書」、「共通仕様書」及び特記仕様書に記載のない場合においては、関係する各要綱、示方書及び指針等に準拠すること。  
その適用にあたっては、その都度工事監督員と協議すること。また、施工にあたって疑義、不明な点があれば同様に協議すること。  
~~なお、照明工については、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「電気設備工事共通仕様書（最新版）」及び（社）日本電気協会内線規格  
専門部会「内線規格（最新版）」に基づき施工するものとする。~~  
そのほか、都市公園事業設計要領、帯広市都市公園移動等円滑化基準条例に基づくこと。

## 2 土木工事積算基準等

- (1) 本設計図書は北海道建設部が制定した「土木工事積算要領」、「土木工事積算基準」、「土木工事工種体系化の手引き」及び「土木工事数量算出要領」に基づき作成している。
- (2) 「土木工事積算基準」において定められている諸基準は次のとおりとしている。
  - ① 機械施工と人力施工等施工方法の区分は設計図面等から判断しているが、機械施工が困難である場合を除き機械施工としている。
  - ② 各基準において標準工法や標準機種が定められている場合、別途特記仕様書等で明示している場合を除き、標準工法・機種で積算している。
  - ③ 上記①②については受注者の任意施工を拘束するものではない。ただし、現場条件等によりこれにより難しい場合は、必要に応じて設計変更する。
- (3) 「土木工事工種体系化の手引き」において定められている事項については、規格・摘要欄に明示した内容に変更が生じた場合は、必要に応じて設計変更とする。

## 3 概数

- (1) 「概数として扱う数量一覧表に示した数量」は、必要に応じて設計変更をするものとする。
- (2) この工事においては、設計変更に伴う変更図面や工事数量の算出は受注者が行うものとする。
- (3) 概数に係る施工にあたっては、施工図面・数量計算書等を作成のうえ、工事監督員と十分協議し、施工協議簿にその打合せ経過を記入すること。
- (4) 標準図は標準的な施工図または出来形を示すものであり、現地状況等に応じて受注者は十分照査のうえ実施するものとする。
- (5) 変更の必要が生じた場合は、すみやかに工事監督員と協議を行うこと。
- (6) 概数として扱う数量一覧表で示した仮設工の工事数量は、標準的な工法により算出したものであるため、現地条件等によって新たに必要となる項目についても概数として扱うことがある。
- (7) 建設副産物の概数について
  - ①解体・破碎費・運搬費
    1. 構造物等の寸法を実測し算出した体積とする。計測した写真を提出し協議すること。
    2. 構造物等の寸法実測が困難で体積・重量算出が不可能な場合（構造物等の形上が不定形な場合等）は産業廃棄物管理票（マニフェスト）総括表の数量から単位体積質量により換算して算出する。
    3. 構造物等の寸法が実測されていない②以外の工種について、産業廃棄物管理票（マニフェスト）総括表の数量から単位体積質量により換算して算出するが、過大な出来形に対しては変更しない。

#### 4. 舗装厚の実測方法

各舗装構成を1施工箇所として施工延長20mにつき1箇所、施工延長が60m未満のものは3箇所、舗装厚を実測し平均値を算出する。舗装厚を実測する際は、舗装を直接計測すること。撤去舗装面積について設計と差異があり変更を必要とする場合は、施工前に工事監督員と現地立会を行い、変更資料を提出し協議すること。

#### ② 処分費

1. 産業廃棄物管理票（マニフェスト）総括表を提出し協議すること。処分数量から概数確定を判断するが、過大な出来形に対しては変更しない。産業廃棄物管理票（マニフェスト）及び検量書について工事監督員から指示を受けた場合、提出すること。

### 4 参考図

参考図として示した図面は、発注者が想定した工法、材料等を示したものであり、これに示されている事項については、受注者の任意施工を拘束するものではない。ただし、現場条件等により、これにより難しい場合は必要に応じて監督員と協議すること。なお、設計上過大な計画に対して変更するものではないことに留意すること。

### 5 積算情報

本工事の予定価格算出の基礎となる積算基準日及び積算工期は下記のとおりである。

- (1) 積算基準日 令和8年5月18日  
積算工期 令和8年6月16日 ～ 令和8年8月20日
- (2) 積算工期には、準備期間(30日)、後片付け期間(21日)のほか雨天、休日等(日曜日、祝日、夏季休暇、年末年始休暇及び作業期間内の全土曜日を含む。)を見込んでいる。

### 6 施工条件の明示

-----  
-----  
-----

### 7 施工計画書の作成

- (1) 受注者は、契約後すみやかに公示用設計図書の検討、基本的な測量による現場確認、関係機関への届け出、工事監督員との打合せを行うこと。
- (2) 特記仕様書に記載のある条件明示の項目について、全て現地等と適合するか否か確認し、施工計画書に図面を含め詳細（管理者名、会社名、住所、距離及び受け入れ条件等）に記載すること。設計図書と現地等において相違が確認された場合は、直ちに工事監督員に報告し、必要に応じ協議すること。
- (3) 施工計画書を提出し、確認を受けるまで工事に着手（物理的な行為）してはならない（測量、調査は除く）。ただし、工事監督員の承諾を得た場合は、この限りではない。
- (4) 施工方法には、具体的な作業手順、具体的な作業方法、当該工事で留意すべき事項等、共通仕様書に準じて記載すること。（掘削方法、転圧、敷均し方法、構造物の施工方法、工作物の撤去方法、仮設の方法等）
- (5) 出来形管理基準、品質管理基準及び写真管理基準は、共通仕様書に準じた管理基準のほか社内管理基準についても明記すること。また、どこの箇所（測点等）でどの程度実施するのか予定箇所等を記載すること。
- (6) 品質管理基準は、小規模な工事以外は関連項目を全て満足するよう、試験方法品質管理基準項目及び実施項目については工事監督員と協議のうえ記載すること。

- (7) 特記仕様書及び共通仕様書等で指定のある段階確認及び立会については記載することとし、その他の段階確認事項について、工事監督員と協議のうえ記載すること。
- (8) 施工計画書で変更及び追加になる部分は、すみやかに工事監督員に提出すること。ただし、数量のわずかな増減等の軽微な変更で施工計画に大きく影響しない場合については、その都度の提出を省略できるものとし、後日の提出でよい。
- ~~(9) 道路交通安全法第77条第1項の規定に基づく道路使用許可を所轄警察署から受け、施工計画書に添付すること。~~

## 8 交通規制及び安全対策

本工事は、下記の道路交通安全法で施工するものとする。下記の期間及び区間は最大限を示したものであり、施工にあたっては必要最小限に留めるよう努めなければならない。

~~(1) 規制の方法：歩道一時通行止め ・ 片側交互通行 ・ 車道幅員減少 ・ 歩道幅員減少 ・ 作業時通行止め~~

(2) 交通誘導警備員

配置人数（ 1 ）人配置 交代要員 ~~（ 1 ）人含む~~

市街地（人口集中地区及び準人口集中地区）及び公安委員会が認定する検定合格警備員の配置を必要とする路線に係る工事現場においては、警備業法による交通誘導警備員検定合格者（1級又は2級）を最低1人以上配置することとし、施工計画書に警備業法による警備員名簿及び交通誘導警備員検定合格書（いずれも写し）を添付すること。

（警備員名簿は、警備業法第45条、同法施行規則第66条第1項の要件に沿ったものとする。）

- ・ 地域住民・警察との協議、関連工事との調整等により交通誘導警備員配置計画に変更が生じる場合には、工事監督員と協議すること。
- ・ 次により、施工計画書の交通管理項目に交通誘導警備員の配置を含めた交通処理計画を記載すること。
  - 1 現地の交通状況などを確認の上、交通処理計画を作成すること。
  - 2 交通管理者への許可申請等において、交通処理計画の変更を求められた場合には、工事監督員と協議すること。
  - 3 毎日の作業終了後は現況幅員程度を確保することとし、一般交通などに支障がないよう安全対策を講じること。

## 9 安全訓練等の報告

『共通仕様書』1-1-1-33に従い実施された安全・訓練等の状況を記録した資料は、受注者が整備・保管するが、工事監督員の請求があった場合に提示できる体制とし、提出は不要とする。

## ~~10 用地境界標（杭）の取り扱い~~

- (1) 用地境界標（杭）とは、公園敷地界（国土交通省・北海道・帯広市）のみならず、民地界その他すべての境界標（杭）のことをいう。
- (2) 受注者は工事着手前に現地調査を行い、測量時の境界杭立会確認書を基に用地境界標（杭）を確認し報告すること。また、工事中に杭が新たに確認できた場合は、受注者は土地所有者等と立会し、境界杭立会確認書を自ら作成すること。
- (3) 受注者は工事完成時に土地所有者等と立会し、境界杭立会確認書にその内容を記入すること。
- (4) 用地境界標（杭）を工事施工に起因して移設・損傷・紛失した場合は、受注者の責任で復元するものとするが、その作業は有資格者により行うものとし、工事監督員の承諾を得ること。

## 11 段階確認事項

次の時期又は工種については、段階確認を実施する。また、『共通仕様書』1-1-1-23の表1-1に示す段階確認のほか、確認事項について工事監督員と協議すること。

- ・起工測量を行った時点。（丁張検査）
- ・路床の整正・転圧が完了した時点。（路床検査）
- ・路盤の整正・転圧が完了した時点。（路盤検査）

## 12 工事図面・工事写真の電子化

### (1) 工事図面

- ①記録図面の作成は出来形図と同様とし、撤去図など施工後に形態をなさないものは除くこととする。また、工事監督員が必要とする図面を作成すること。
- ②記録ファイル形式はPDF形式とP21形式の両方とする。
- ③PDFは設計値と出来形（朱書）の並記とし、P21については出来形値のみとする。文字化けなどが無いよう確認し記録すること。
- ④電子媒体索引簿（別紙様式）を作成し、媒体とともに提出すること。

### (2) 工事写真

- ①工事写真は、デジタルカメラで撮影した全ての電子データをJPEG形式で保存し、各工種ごとにフォルダ整理すること。  
必要に応じ説明文をテキスト形式(TXT)で、説明図等をビットマップ形式(BMP)で作成し、該当する写真フォルダに格納する。  
写真枚数が多くなる場合には、サブフォルダを作成するなど工夫し管理すること。
- ②有効画素数は300万画素程度とし、1,000万画素以上の機種については、高画質でパソコンへの負荷が大きいため、カメラの画質を300万画素程度に設定すること。
- ③写真の編集については原則認めないが、明るさ補正や回転・パノラマ・つなぎ写真等を行っても良い。ただし、ファイル名の後ろに補正したことと補正内容を記載すること。
- ④その他不可視部（配筋・基礎部等）の写真は、施工状況が判断できるよう適切な枚数を格納すること。

## 13 電子媒体

電子媒体について、次に留意し提出すること。

- ①記録媒体はDVDを基本とする。
- ②記録内容は、工事図面及び工事写真とする。
- ③媒体表面に、北海道建設部制定の『情報共有・電子納品運用ガイドライン【工事編】』7.12.5.電子媒体等の表記に基づき記入すること。

## —14 共同企業体編成表—

本工事を共同企業体で受注した場合は、契約締結後5日以内（着工届に添付）に共同企業体編成表作成のうえ工事監督員に提出すること。（別紙「共同企業体編成表」を参照のこと）

## 15 工事材料品質確認願

セメントコンクリート製品一般、アスファルト混合物、路盤材（切込砂利、コンクリート再生骨材）の試験成績表等については、次に挙げる取扱団体から発注者へ年度当初に一括提出されるので、「工事材料品質確認願」への添付は省略することができる。ただし、特殊な製品や配合、取扱団体加入社以外より納入される資材については提出が必要となるので、別途工事監督員と協議すること。

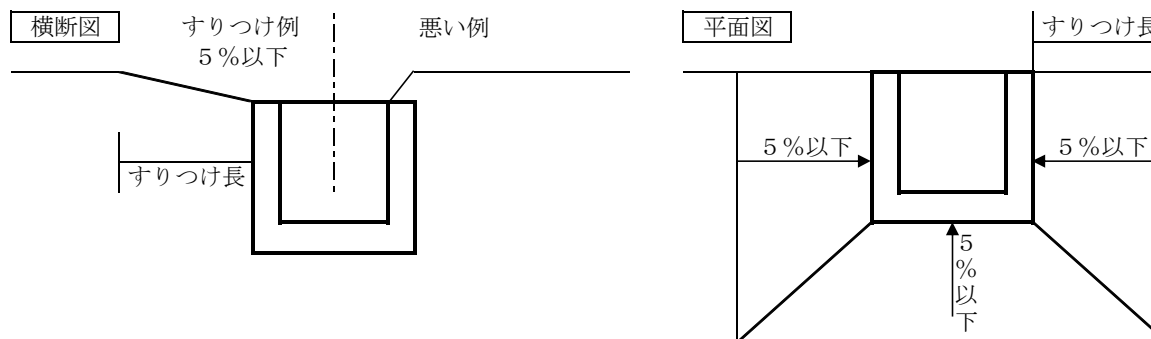
資材名	団体	特記事項
コンクリート二次製品	十勝管内コンクリート二次製品協同組合	
アスファルト混合物	北海道舗装事業協会 帯広地区委員会	
路盤材（切込砂利）	十勝骨材共販協同組合	
路盤材（コンクリート再生骨材）	十勝再生骨材販売協同組合	

## 16 完成届

完成届の提出に際し、完成写真として着工前及びこれと対比できる完成の写真帳を提出すること。なお、写真帳には撮影年月日及び測点等を記入するものとする。

## 17 路面柵等の施工

- (1) 路面柵等、トラフ、基礎ブロックの施工について
  - ①柵・トラフの施工は舗装勾配に合わせて施工すること。
  - ②舗装完成時に舗装面より柵等がいかなる場合も突出してはいけない。
  - ③すりつけ勾配は5%以下を標準とし、路肩内に納めること。
  - ④取付管の接合部には、特殊接合剤を使用すること。
- (2) 路面柵の施工について
  - ①路面柵頂部が舗装面より20mm以上下がるように設置すること。これによりがたい場合は、工事監督員と協議すること。
  - ②柵をかさ上げする場合は、指定の製品を使用すること。



## 18 再生アスファルト混合物

- (1) 本工事では再生アスファルト混合物を下表に示す再生骨材混入率に基づいて施工すること。また、再生アスファルト混合物に関する事項は、アスファルト舗装再生利用ガイドライン、プラント再生舗装技術指針等に従うものとする。

再生混合物	細粒度アスコン (車道)	細粒度 ギャップアスコン	密粒度 ギャップアスコン	密粒度 アスコン	粗粒度アスコン	アスファルト安定処理 (車道)	細粒度アスコン (歩道)	アスファルト安定処理 (歩道)
混入率 (%)	50	50	50	50	50	50	50	50

- (2) 配合率50%再生アスファルト混合物については11月末日までの施工とし、12月1日以降に舗設する場合は新材を使用すること。  
(3) 密粒度アスコンの使用は10月末日までとし、11月1日以降は、原則、細粒度アスコンまたは細粒度ギャップアスコンを使用するものとする。ただし、他工事との調整等により、当初想定していた舗設時期が変更となる場合、使用する合材について監督員と協議すること。

## 19 アスファルト乳剤

アスファルト乳剤の散布量について、タックコートの場合 43ℓ/100㎡、プライムコートの場合126ℓ/100㎡を標準使用量とする。

## 20 コンクリート再生骨材

セメントコンクリート再生骨材を使用する場合は下記によるものとする。ただし、これにより難しい場合は、工事監督員と協議のこと。

本工事で使用するコンクリート再生骨材は下記の再資源化施設を想定している。下記の再資源化施設を使用する場合、工期開始時に供給が不可能な場合は、別紙再生骨材の出荷確認様式で再資源化施設より回答を受け工事監督員と協議すること。

再資源化施設	所在地	備考
株式会社岩佐	帯広市西24条南6丁目5-16	

## 21 石材

車止め、園名石等に使用する石材は、本設計図書によるもののほか、共通仕様書第1編第2章第4節「石」の各項に適合するものとし、使用資材承認願に承認図とともに提出すること。

## 22 マルチング材

カラマツの樹皮を粉碎したものとし、大きさは、幅2cm、長さ10cm程度以下のものを使用するものとする。

### 23 建設副産物（建設発生土）

(1) 本工事の建設発生土は下記を想定している。

	所在地	搬入予定土量	運搬距離	敷均しの有無	受入期間	使用公園名
	依田受入地 (幕別町字依田243番地3)	m <sup>3</sup>	L= km	有 ・ 無	月 日 ~ 月 日	
○	北2線受入地 (芽室町西土狩北2線59番地1)	80 m <sup>3</sup>	L= 4.8 km	有 ・ 無	4月 1日 ~ 3月 31日	帯広の森
	清川受入地① (帯広市清川町東2線97番地1, 2, 3) (帯広市清川町東2線99番地2, 3) (帯広市清川町東2線84番地1, 2, 3)	m <sup>3</sup>	L= km	有 ・ 無	月 日 ~ 月 日	
	清川受入地② (帯広市清川町東2線99番地1, 6, 7, 8)	m <sup>3</sup>	L= km	有 ・ 無	月 日 ~ 月 日	
	中島東5線受入地 (帯広市中島町東5線96番地9)	m <sup>3</sup>	L= km	有 ・ 無	月 日 ~ 月 日	
	稲田町受入地 (帯広市稲田町9-1, 川西町基線99)	m <sup>3</sup>	L= km	有 ・ 無	月 日 ~ 月 日	
	岩内受入地 (帯広市岩内町東1線7番地1)	m <sup>3</sup>	L= km	有 ・ 無	月 日 ~ 月 日	
	その他 ( )	m <sup>3</sup>	L= km	有 ・ 無	月 日 ~ 月 日	

↑ 本工事該当箇所○印

- (2) 搬入に先立ち受入先と受入契約を締結すること。（建設発生土受入契約書参照）
- (3) ①搬入に先立ち、発注者及び受入先に土質試験表を必要に応じ提出すること。  
②土質試験項目は最適含水比及び粒度分布等を試験し結果を提出するものとする。
- (4) 搬入土内に、コンクリート廃材・アスファルト廃材・ゴミ等を混入させないこと。なお、混入が認められた場合は混入物を撤去することとはもとより、今後受入を禁止される場合があるので厳守すること。
- (5) 搬入路について砂利等が必要な場合は適宜敷均し補充すること。
- (6) 搬入期間中に道路を汚損した場合は道路清掃人を配置し清掃を行うこと。また、清掃人には会社名を明示した腕章を着用させること。
- (7) 搬入前に、数量の確認方法等について工事監督員と協議をすること。
- (8) 搬入完了後、受入者より建設発生土受入証明書を提出してもらい、工事監督員の確認を受けること。

### 24 建設副産物（伐採・抜根・すき取り・伐開物等）【以下「伐根物等」という。】

- (1) 工作物の新築・改築・除去に伴う工事により排出される抜根、伐採材等の木屑は産業廃棄物とする。
- (2) 工作物の新築・改築・除去を伴わない工事により発生した抜根、伐採材、枝打ちした木、間伐材、流木等の木屑は一般廃棄物とする。
- (3) 草、笹、草の根等のすき取り物、伐開物は一般廃棄物とする。

- (4) 建設副産物(伐根物等)は、受注者において適正な帯広市内の処理施設を選定し、施工計画書に建設副産物における適正処理計画について記載すること。なお、受注者の提示する処理施設と積算上想定している処理施設が異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。また、変更が生じた場合は、工事監督員と協議すること。

※処分場所については、受入可能な施設のうち、積算上運搬費等も含めて一番安価な処理施設を想定している。

- (5) 一般廃棄物の収集・運搬・処分を委託する場合は、帯広市内の許可業者でなければできないので留意すること。また、一般廃棄物の許可は市町村毎なので注意すること。

- (6) 本工事で発生する伐根物等は、下記に基づき適切に処理すること。

① 本工事受注者自らの車両で直接処分場へ運搬する場合、また、本工事受注者が、賃貸車両を使用し直接処分場へ運搬する場合は、運搬車両に看板等で会社名を明示すること。

② 廃棄物処理業の許可を受けた者を選定すること。

- (7) 工事現場内において発生した廃棄物等が混在しないよう適切に管理するとともに、すみやかに各処理場へ搬出すること。

- (8) 有料となるものの処理費用は、本工事に含まれている。

~~(9) 幹材の搬入にあたっては、別紙「幹材の搬入について」を参照し、指定伝票を監督員に提出すること。~~

~~(10) 枝材の搬入にあたっては、指定の伝票のうち、「帯広有機西帯広牧場」ポスト投函用は日ごとに処理場へ、「帯広市みどりの課」提出用は、月ごとにまとめて監督員に提出すること。~~

#### ~~25 特定建設資材廃棄物の処理について~~

- (1) 分別解体等によって発生する特定建設資材廃棄物（コンクリート塊、発生木材、アスファルトコンクリート塊）は、受注者において適正な処理施設を選定し、施工計画書に建設廃棄物における適正処理計画について記載すること。なお、受注者の提示する処理施設と積算上想定している処理施設が異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。また、変更が生じた場合は、必要な資料を提出のうえ、工事監督員と協議すること。

※処分場所については、受入可能な施設のうち、積算上運搬費等も含めて一番安価な処理施設を想定している。

- (2) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律により、適正に処理するとともに産業廃棄物管理票（マニフェスト）を交付し、5年間保存することとし、工事監督員から提示を受けた場合は提示すること。また、工事完成後工事監督員に産業廃棄物管理票（マニフェスト）総括表を作成し提出すること。

- (3) 工事写真には、処理業者名（処分場名の看板等）が判りかつ、搬入状況も判る写真を貼付すること。

- (4) 本設計図書において発生しないものとしている種類の特定建設資材廃棄物であっても、受注者の都合により実際に発生させ、廃棄物として処分する場合は、当該特定建設資材廃棄物の再資源化等実施方法の確定後に、建設リサイクル法第13条及び分別解体等省令第4条に基づく協議書の別記様式を準用し、「4 再資源化等をするための施設の名称及び所在地」欄に必要事項を記載して、工事監督員の確認を受けること。

#### ~~26 CCA防腐処理木製品の適切な処理について~~

防腐・防蟻のためにCCA（クロム・銅及びヒ素系木材防腐剤）を注入処理した木材（以下「CCA処理木材」という。）については、再資源化により有害物質を発生する恐れから、それ以外の木材とは分離・分別し、廃棄物の処理及び清掃に関する法律により焼却・埋め立てを適正に行う必要がある。

本工事により排出される木製廃棄物がCCA処理木材（主に昭和55年～平成3年に設置された木製施設に多い）の疑いがあるときには、撤去に先立ち監督員との協議を行い、必要に応じて設計変更を行い、適正に処理することとする。

### 30 植生工

#### —種子散布工—

- (1) 栽培芝タイプの種子選定と配合については、共通仕様書に準拠すること。
- ① 出来形図に測定箇所の施工範囲、実測値（三斜の延長）を記入し、三斜法による求積計算を添付すること。ただし、工事監督員と協議のうえ、CAD計測によるものとしても良い。
  - ② 植生状態は、植生面から10m離れると、全体が緑に見え、植被率が80%以上であり、植生面に1m四方以上の裸地が無いこと。また、草丈が15cm以上であること。
  - ③ 工期内に発芽状況の確認ができない場合は、工事監督員の指定した時期までに上記測定結果を提出するものとする。
- (2) 公園芝タイプの種子選定と配合については、共通仕様書に準拠すること。
- ① 出来形図に測定箇所の施工範囲、実測値（三斜の延長）を記入し、三斜法による求積計算を添付すること。ただし、工事監督員と協議のうえ、CAD計測によるものとしても良い。
  - ② 施工管理の判定基準は、次に示す品質を満足していなければならない。なお、測定数は500m<sup>2</sup>毎に1カ所発芽状況の疎な部分で行うものとする。
    - a 植生状態は、植生面から10m離れると、法面全体が「緑」に見え、植被率が80%以上であること。
    - b 植生面に1m四方以上の裸地が無いこと。
    - c 草丈が15cm以上であること。
  - ③ 工期内に発芽状況の確認ができない場合は、工事監督員の指定した時期までに上記測定結果を提出するものとする。

#### 張芝工

- (1) 工事で使用する生芝の種類、施工方法及び管理については共通仕様書に準拠すること。

#### 工程関係

- (1) 種子散布工、張芝工の完了時期  
種子散布工は、施工完了後5℃以上が60日以上確保される時期(9月11日を想定)までに施工を完了すること。  
張芝工は、施工完了時期が日平均気温-5℃以上確保される時期(12月22日を想定)までに施工を完了すること。  
なお、施工時期については芝の生育条件を十分考慮し施工計画書に明記すること。また、施工時期が当初工程より遅延する恐れが生じた場合には監督員と協議すること。

### 31 生芝

- (1) 使用する芝は、以下のものを使用する。  
公園用芝      栽培土芝      野芝      その他（            ）
- (2) 公園用芝は、ケンタッキーブルーグラスを主体（80%以上）としたものとする。

## 32 土系舗装工

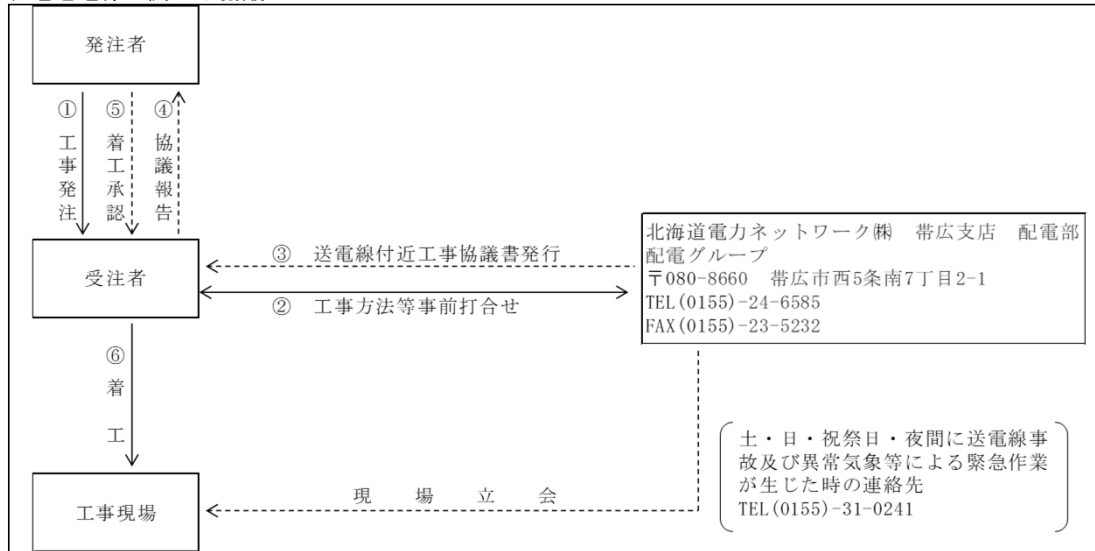
- (1) 一般事項
  - ①表面排水勾配については、設計図書で示されていない箇所及び部分的なすりつけを、監督員と協議すること。
  - ②散水については、淡水を用いるものとし、ごみ、どろ、油、強いアルカリ等を有害量含んでいるものを使用してはならない。
- (2) 施工
  - ①表層については、均一に敷き均し、締固めに適した含水比に保てるよう散水しながら、転圧及び不陸修正を繰り返し、設計図書に示す高さ及び厚さに仕上なければならない。
  - ②表層転圧後、表層安定剤を均一に散布すること。散布量については、100㎡当たり120kgとする。

## 33 地上地下の既設公共施設の被害防止について

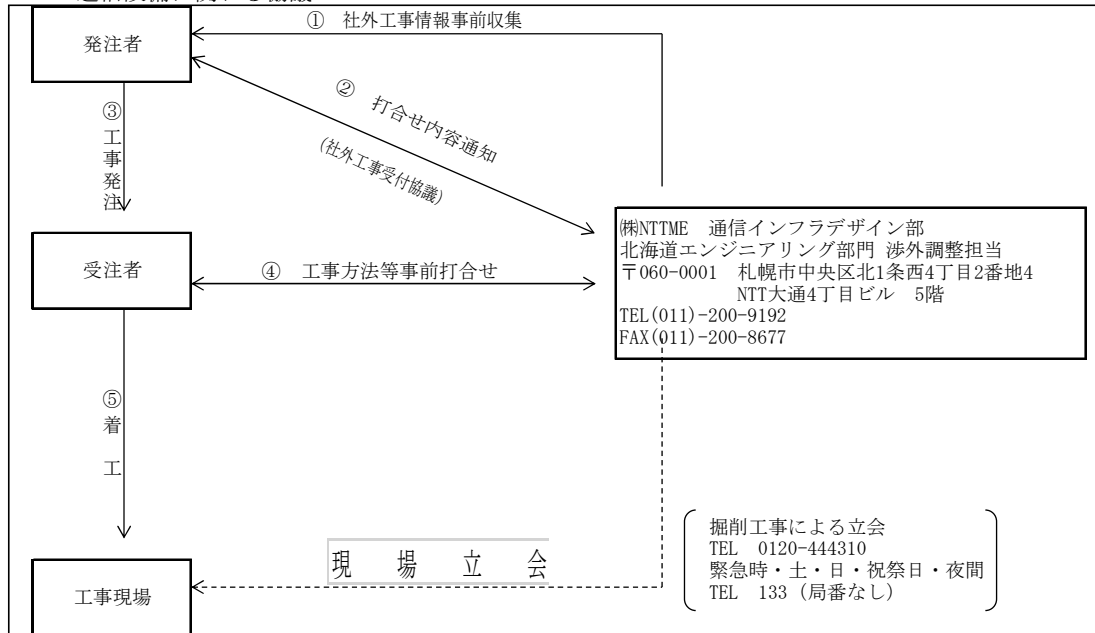
電気、通信、水道、ガスなど社会生活に重大な影響を及ぼす既設公共施設については、特段の注意を払い工事現場の管理を行うこと。

- (1) 地上地下の既設公共施設の確認  
工事着工前に、工事箇所及びその周辺にある既設公共施設の確認を確実に行うこと。確認結果は工事監督員に報告すること。
- (2) 施設管理者との協議等  
既設公共施設の有無にかかわらず、すみやかに施設管理者と協議を行うこと。工事により施設に影響を及ぼす恐れのある場合は、施設管理者の指示を受け、その必要な保安措置を講じること。
- (3) 施工計画書の提出  
施工計画書に、施設管理者との協議、指示内容及び保安措置について具体的に記載し、工事監督員に提出すること。なお、該当施設がない場合であっても、その旨、記載すること。
- (4) 工事の着手  
施工計画書の提出及び事故防止保安措置を講じた後でなければ、工事に着手してはならない。
- (5) 北電配電線・送電線設備  
工事着工前に、北海道電力ネットワーク㈱と打合せを行い、その内容を施工計画書に明記する。
- (6) NTT通信設備  
工事着工前に、東日本電信電話㈱ 北海道東支店と打合せを行うこと。工事看板に協議済みシールを添付すること。

北電送電線に関わる協議



NTT通信設備に関わる協議



#### —34 北海道循環資源利用促進税（以下、「循環税」という。）について—

当工事で発生する産業廃棄物が道内の最終処分場に直接搬入される場合、または中間処理場に搬入される場合でも、減量化・リサイクル等により残さ等が発生し、最終処分場に搬入される場合は、循環税が課税されるので適正に処理すること。なお、循環税相当額が当初設計に計上されておらず、適切な工程管理のもと産業廃棄物を最終処分場または中間処理場に搬入し、循環税相当額が必要となる場合は、別途協議とする。

#### 35 工事保険の加入について

本工事は、次に規定する保険等に加入しなければならないものとし、保険契約締結後、工事監督員に保険証券の写し（保険以外の場合には、保険証券に代わるもの）を提出すること。

- (1) 保険等の種類
  - ① 工事目的物、工事材料及び仮設物等に生じる損害を填補する保険。（土木工事保険、組立保険等）
  - ② 工事の施工に伴い第三者に与えた損害を填補する保険。（請負業者賠償責任保険等）
  - ③ 上記に準ずるその他の保険。
- (2) 保険等の金額
  - ① 請負代金以上。
- (3) 保険等の期間
  - ① 工事着手のときから工事目的物の引き渡しまでの期間

#### 36 技能士の活用について

- (1) 受注者は、工事目的物の品質の向上を図るために、技能士（職業能力開発促進法に基づく有資格者）の積極的な活用に努めるものとする。
- (2) 技能士の活用の有無にかかわらず技能士活用状況報告書（別記様式）を作成し、予定については着工時に、実績については完成時に提出すること。
- (3) 技能士を活用する場合は、技能士であることを確認できる資料として、地域技能士会が発行する資格証明書、または技能検定合格書の写し、あるいは技能士手帳の写しを技能士活用状況報告書に添付すること。

#### 37 成果品等の貸与

本工事を施工するにあたり、成果品等の貸与を受ける場合は、借受書及び返納書を提出すること。

#### —38 除雪工—

- (1) 現場内に堆雪ヤードが無く現場外への排雪が必要となる場合は、工事監督員と協議のうえ搬出すること。
- (2) 搬入前に工事監督員と、搬入時期、数量の確認方法について協議し、変更があった場合には直ちに報告すること。  
搬入前に、数量の確認方法等について工事監督員と協議をすること。

#### 39 工事成果品収納箱

- (1) 工事成果品収納箱の仕様については、監督員と協議すること。
- (2) 収納箱引出し前面部に下記タイトルを貼付すること。

◻ は着色部

工 事 成 果 品	令和 ○ 年度 ○ ○ 局
工事名 .	
工期 . 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日	
施工者 .	※ 箱数を記入 2 - 1 総箱数 当該箱番

着色指定

○	緑	都 市 局
	青	災 害 復 旧
	白	単 独

↑ 本工事該当○印

290mm

#### 40 現場環境改善費について

- (1) 現場環境改善は、周辺住民の生活環境への配慮及び一般住民への建設事業の広報活動、現場労働者の作業環境の改善を行うために実施することを目的とする。
- (2) 現場環境改善の実施内容については、次のとおりとする。
  - ① 次の[別表]より、実施する項目を選択する。
  - ② 実施内容は、仮設備関係、営繕関係、安全関係、地域連携のうち5項目を基本とし、具体的な実施内容・実施時期については、施工計画書を提出する際に協議すること。

[別表]

計上費目	実施する項目(率計上)
仮設備関係	1. 用水・電力等の供給設備の充実 2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設 4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実 6. 環境負荷の低減
営繕関係	1. 現場事務所・監督員詰所の快適化(女性用更衣室の設置を含む) 2. 労働者宿舎の快適化 3. デザインボックス(交通誘導警備員待機室)の快適化 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連施設及び厚生施設の充実等
安全関係	1. 工事標識・照明等安全施設のイメージアップ(電光式標識等) 2. 盗難防止対策(警報機等) 3. 避暑(熱中症予防)・防寒対策
地域連携	1. 完成予想図 2. 工法説明図 3. 工事工程表 4. デザイン工事看板(各工事PR看板含む) 5. 見学会等の開催(イベント等の実施含む) 6. 見学所(インフォメーションセンター)の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等(地域行事等の経費を含む) 9. 社会貢献

#### 41 1日未満で完了する作業の積算について(施工パッケージ)

- (1) 「1日未満で完了する作業の積算」(以下、「1日未満積算基準」と言う。)は、変更積算のみに適用する。
- (2) 受注者は、当初発注時の通常の施工パッケージ型積算基準と乖離があった場合に、「1日未満積算基準」の適用について協議の発議を行うことができる。
- (3) 同一作業員の作業が他工種・細別の作業と組合せて1日作業となる場合には、「1日未満積算基準」は適用しない。
- (4) 受注者は、協議に当って、「1日未満積算基準」に該当することを示す書面その他協議に必要となる根拠資料(日報、実際の費用を示す資料等)を監督員に提出すること。実際の費用を示す資料(契約書、請求書等)により、当初発注時の通常の施工パッケージ型積算基準との乖離が確認できない場合には、「1日未満積算基準」は適用しない。
- (5) 通年の維持管理業務など人工精算を前提として積算する場合等や通常の積算方法によることが適当と判断される場合には、「1日未満積算基準」を適用しない。

#### —42 施工歩掛について—

下記の工種の施工歩掛については、見積りにより策定した歩掛であることから、受注者から希望がある場合は、工事着手前に工事監督員立会いのうえ試験施工を行い歩掛の妥当性を検証すること。

試験施工の結果から、当り単価が2割以上、又は直接工事費で200万円以上かい離した場合は、設計変更で処理することとし、設計変更の有無にかかわらず工事全体で歩掛の妥当性を検証すること。

なお、時間又は日当たり機械運転費については設計変更の対象としない。

—47 取扱説明書—

受注者は、工事で設置した休憩、遊戯、管理、運動施設等について、取扱説明書を取りまとめのうえ、工事成果品として提出すること。

—48 諸官庁申請手続き報告書—

電気設備及び給排水設備等の設置にあたり行った申請手続きについて、申請書の写し及び許可書を諸官庁申請手続き報告書として提出すること。

49 公園台帳

公園台帳は以下の調書等により構成するものとし、別紙作成例を参照し作成のうえ、工事成果品として電子データとともに提出すること。  
 なお、図面はA4版とし、写真にあつては公園全景（異なる方向から撮影した2葉以上となっても可）が確認できるものとする。

また、同一現場で複数の業者（公園本体、建築、電気、上下水道設備）が重なる場合については、本工事の受注者が作成すること。

- ・都市公園台帳
- ・公園施設現況調書
- ・都市公園台帳図
- ・樹種別樹木現況調書
- ・公園用地敷地図
- ・敷地現況調書
- ・休憩施設調書（四阿、ベンチ、テーブル等）
- ・遊戯施設調書（お祭り台、ブランコ、複合遊具等）
- ・管理施設調書（車止め、フェンス、門柱等）
- ・便益施設調書（水飲み台、トイレ等）
- ・照明灯管理台帳
- ・ライフサイクルコスト調書

—50 生コンクリート—

本工事で使用する生コンクリートの種類、用途を下記に示す。

該当項目	配合	設計基準強度	最粗骨寸法の	スラン	空気量	比水のセ	最低	セメント	混和材	冬期養生	構造物	
<input type="checkbox"/>	C-1	土木工事共通仕様書参照						混B	普通 早強	<input type="checkbox"/> A E 減水剤 <input type="checkbox"/> A E 剤	有無	均しコンクリート
<input type="checkbox"/>	C-4	土木工事共通仕様書参照						混B	普通 早強	<input type="checkbox"/> A E 減水剤 <input type="checkbox"/> A E 剤	有無	内陸部の無筋構造物
<input type="checkbox"/>	C-10	土木工事共通仕様書参照						混B	普通 早強	<input type="checkbox"/> A E 減水剤 <input type="checkbox"/> A E 剤	有無	胴込・裏込コンクリート
<input type="checkbox"/>	RC-1	土木工事共通仕様書参照						混B	普通 早強	<input type="checkbox"/> A E 減水剤 <input type="checkbox"/> A E 剤	有無	

## 51 週休2日工事の実施について

- (1) 本工事は、完全週休2日（土日）及び月単位の「週休2日工事」の対象工事であり、当初予定価格は月単位の週休2日以上の達成を前提とした経費の補正を行っている。
- (2) 受注者は、週休2日による施工を希望する場合、契約後、発注者と協議を行い、協議が整った場合に完全週休2日（土日）及び月単位の週休2日による施工を行うこととする。なお、月単位の週休2日が達成できない場合においても、通期の週休2日による施工を行わなければならない。
- (3) 完全週休2日（土日）とは、対象期間内の全ての週において、土日に現場閉所されている状態をいう。土日に加えて、受注者自らが土日以外にも現場閉所することは可能とする。受注者の責によらず、土日に施工を行わざるを得ない場合は、事前に協議した上で、土日に代わる現場閉所日を指定するものとする。月単位の週休2日とは、対象期間の全ての月において、4週8休以上（現場閉所日数（降雨、降雪等による予定外の現場閉所日を含む。）の割合（以下「現場閉所率」という。）が28.5%（8日/28日）以上の水準に達する状態）の現場閉所がされている状態をいう。ただし、暦上の土曜日・日曜日の閉所では現場閉所率が28.5%に満たない月は、その月の土曜日・日曜日の合計日数以上の閉所を行っている場合に、達成しているものとみなす。通期の週休2日とは、対象期間の全体を通した期間において、土日・祝日にかかわらず、4週8休以上の現場閉所がされている状態をいう。対象期間は、工事着手日（現場に継続的に常駐した最初の日）から工事完成日（各種仮設物を撤去し、現場の清掃を完了した日）までの期間をいう。なお、年末年始6日間、夏期休暇3日間、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間のほか、発注者があらかじめ対象外としている内容に該当する期間（受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間等）は含まない。契約後、週休2日の対象期間としていた期間において、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間が生じる場合は、受発注者間で協議し、現場閉所による週休2日の対象外とする作業と期間を決定するものとする。
- (4) 現場閉所とは、巡回パトロール、保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場が閉所された状態をいう。なお、降雨、降雪などによる予定外の現場閉所日についても現場閉所日に含めるものとする。
- (5) 週休2日の確保の取組は、将来の担い手確保、入職しやすい環境づくりを目指すものであることから、週休2日による施工を実施する受注者は、その趣旨に沿った休日の取得に努めるものとする。
- (6) 週休2日の実施の確認方法は、次によるものとする。
  - ①受注者は、週休2日の計画工程表を施工計画書に添付し発注者へ提出する。
  - ②受注者は、実施結果を発注者へ報告する。
- (7) 発注者が必要に応じ週休2日の実施状況の聞き取り等を行う場合には、受注者は協力するものとする。
- (8) 補正の対象となる経費は、労務費、共通仮設費及び現場管理費とし、現場閉所の達成状況の結果、完全週休2日（土日）を達成した場合は、増額の設計変更を行い、月単位の週休2日に満たない場合は、減額の設計変更を行う。また、市場単価についても月単位の週休2日に満たない場合は設計変更を行う。なお、その他労務費分が明らかとなっていない単価等については補正の対象としない。
- (9) 「週休2日工事」について、受注者を対象としたアンケート調査の依頼があった場合は協力するものとする。
- (10) 週休2日の実施計画書提出後、当該工事の全体工期に影響はでないものの、一部の施工内容・箇所に変更があり、工期内の期限を設ける必要がある場合は、対象期間外とできる場合があるので、受発注者間協議を行うこと。
- (11) その他の事項については、帯広市週休2日工事実施要領によるものとする。

## —52 電子納品・情報共有（試行）—

### (1) 電子納品

- ① 本工事は、工事書類を電子成果品として納品することができる工事である。
- ② 電子納品の対象書類は、工事監督員と協議の上決定する。

### (2) 工事施工情報共有

- ① 当該工事は、工事監督員及び受注者の間の情報を電子的に交換・共有することにより業務の効率化を図る情報共有システムの活用対象工事である。
- ② 当該工事で使用する情報共有システムは次のものとする。  
推奨システム名：北海道市町村版情報共有システム  
ASP事業者：一般財団法人北海道建設技術センター
- ③ 工事監督員及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者との契約は受注者が行うものとする。また利用開始日、ワークフロー機能の対象者等については工事監督員と協議の上決定する。
- ④ 受注者は、情報システムのサービス提供者と次の内容を含めた契約をする。  
(ア) 情報共有システムに関する障害を適正に処理、解決できる体制を整えること。  
(イ) 情報共有システムのサービス提供者が善良なる管理者の注意をもってしても防御し得ない不正アクセス等により、情報漏洩、データ破壊、システム停止等があった場合、速やかに工事監督員及び受注者に連絡を行い、適正な処理を行うこと。  
(ウ) 上記(イ)の場合において、情報共有システムのサービス提供者に重大な管理瑕疵があると工事監督員若しくは受注者が判断した場合、または復旧若しくは処理対応が不適切な場合には、受注者は情報共有システムのサービス提供者と協議の上情報共有システムの利用を中止できること。
- ⑤ 情報共有システムを利用する工事監督員及び受注者の費用は共通仮設費（技術管理費）の率分に含まれる。利用料金は情報共有システムへの登録料及び使用料である。
- ⑥ 詳細については工事監督員と協議すること。また、条件によっては活用を行わない場合があるので工事監督員と協議すること。

### (3) 電子納品・工事施工中の情報共有の実施に伴う環境整備

受注者は、電子納品及び工事施工中の情報共有を行うにあたり、必要なハード環境及びソフト環境を予め保有している、または手配可能なこと。

### (4) 成果品

- ① 本工事の電子納品対象書類は、情報共有システムへ登録し、工事監督員の承諾を得ること。

### (5) その他

電子納品及び工事施工中の情報共有の遂行にあたり疑義が生じた場合、工事監督員と協議すること。

## 53 その他

- (1) 支障物件等については事前に協議を行っているが、施工前に必ず所有者にその取り扱いについて確認すること。
- (2) 施工箇所に建築物等が近接している場合は、所有者と起工測量時に建築物等の状況を確認し、立会確認書を作成すること。
- (3) 設計図書と現場の状況等が異なる場合は、工事施工協議簿を交わさない限り工事に着手してはならない。

# 施工計画書

令和 年 月 日

帯広市長 上野庸介 様

受注者 住所

氏名

工事名

上記工事について、施工計画書を下記のとおり提出します。

1. 工事概要
2. 計画工程表
3. 現場組織表
4. 指定機械
5. 主要資材
6. 施工方法
7. 施工管理計画
8. 緊急時の体制及び対応
9. 安全管理
10. 交通管理
11. 環境対策
12. 現場作業環境の整備
13. 建設副産物の適正処理計画
14. 再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書
15. 社内検査
16. その他

上記工事について、施工計画書を受理しました。

令和 年 月 日

監督員職氏名

課長	課長補佐	係長	係	係
		課長補佐 事務取扱		

# 工事看板記載仕様

ご迷惑をおかけします

**園路を  
造っています。**

令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日 まで  
時間帯 ○○:○○~○○:○○

帯広の森園路整備工事(西11~12号間)

発注者 帯広市都市環境部みどりの課  
電 話 0155-24-4111(代表)  
0155-65-4187(直通)

施工者 ○○○○建設株式会社  
電 話 ○○○○-○○-○○○○

工事名を標示する

# お願い

**公園工事のためご迷惑を  
お掛けしますが、よろしく  
御協力願います。**

**なお、お気付きの点は  
係員にお申し出下さい。**

発注者 帯広市都市環境部みどりの課  
電 話 0155-24-4111(代表)  
0155-65-4187(直通)

施工者 ○○○○建設株式会社  
電 話 ○○○○-○○-○○○○

注 : 現場に施工業者の工事作業所及び現場代理人詰所等  
がない場合は、施工会社のみ記載とする。

詳細は、北海道建設部土木工事共通仕様書による。

市街地については1/2サイズも設置可能とする。

工 事 施 工 協 議 簿

(第 回)											
工 事 名											
件 名											
内 容		.....									
		.....									
		.....									
		.....									
		.....									
		.....									
		.....									
		.....									
□ 添付資料名											
【工事監督員】										令和 年 月 日	
上記事項について		□ 指示、 □ 承諾、 □ 協議、 □ 通知、 □ 受理 する。									
□ 工事内容の変更の対象と		□ しない。 □ する。ただし、詳細については別途指示する。									
□ 工事内容の変更の対象とするか、後日指示する。											
□ 特記事項											
【受注者】〇〇〇〇株式会社										令和 年 月 日	
上記事項について		□ 了解しました。 □ 承諾願います。 □ 協議、 □ 提出、 □ 報告 します。									
□ 特記事項											
請負代金額			累計増減額			合計見込額			備考		
千円			千円			千円					
確認欄	部長	参事	室長	課長	課長補佐	係長	主査	係	監督員	主任技術者	現場代理人

注: 該当する□に✓を記入すること。

「内容」について、記載欄が不足する場合は別紙への記載を可能とする。

課 長	課長補佐	係 長	係	係
		課長補佐 事務取扱		

### 履 行 報 告 書

工事名			
工 期	令和 年 月 日 から 令和 年 月 日 まで		
日 付	令和 年 月 日 ( 月分)		
月 別	予定工程 % ( ) は工程変更後	実施工程 %	備 考
(記事欄)			

(作成上の注意)

- 1 報告は、原則毎月とし、工事監督員へ提出すること。
- 2 予定工程は、初回報告時に完成までの予定出来高累計を記入すること。
- 3 実施工程は、当該報告月までの出来高累計を記入すること。
- 4 計画と実施（赤色）を対比した工程表を添付すること。

令和 年 月 日

監督員

様

(受注者名)

現場代理人

段 階 確 認 願 (第 回)

下記について、段階確認をお願いします。

記

段階確認の内容

工事名			実施希望日	令和 年 月 日		
工 種	細 目 等	品 質 規 格	区 域 等	数 量 等	呼 称	備 考

上記の段階確認について、以下のとおり実施します。

監督員

実施日時	令和 年 月 日 時から	実施者名	
実施場所	<input type="checkbox"/> 工事現場、 <input type="checkbox"/> 製作工場、 <input type="checkbox"/> (実施場所)		
実施方法	<input type="checkbox"/> 臨 場、 <input type="checkbox"/> 机 上、		
必要書類	<input type="checkbox"/> 設計図書、 <input type="checkbox"/> 測量結果、 <input type="checkbox"/> 出来形図等、 <input type="checkbox"/> 品質規格証明等 <input type="checkbox"/> 施工管理記録、 <input type="checkbox"/> 写真、 <input type="checkbox"/> (その他必要書類等)		
特記事項			

令和 年 月 日 の段階確認の結果、設計図書のとおり施工されて

いる。 いない。 詳細については、別途指示する。

令和 年 月 日

監督員

(主 旨)

本様式は、受注者が段階確認を受ける必要がある場合に工事監督員に提出するものである。

(作成上の注意)

該当する□内にレを記入すること。

# 工事材料品質確認願

令和 年 月 日

帯広市長 上野庸介 様

受注者 住所

氏名

工事名

---

上記工事について、工事材料の品質規格証明書を別紙のとおり提出しますので、ご確認願います。

---

上記工事について、工事材料の品質規格を確認しました。

令和 年 月 日

監督員職氏名

課長	課長補佐	係長	係	係
		課長補佐 事務取扱		

(別 紙)

令和 年 月 日

(受注者) 様

(住 所)

(再資源化施設名) 印

再生骨材の出荷確認について (回答)

令和 年 月 日に貴社より依頼のありましたこのことについて、  
次のとおり回答します。

記

- 1 工事名
- 2 出荷できる再生骨材の規格、出荷可能数量及び出荷時期

規 格	出荷可能数量 (m <sup>3</sup> )	出荷時期	備 考

(別紙)

建設発生土受入契約書

工 事 名	※工事請負契約書に記載されている工事名
発 注 者 名 称	帯広市
排 出 場 所	※工事請負契約書に記載されている工事場所
受 入 場 所	※特記仕様書に記載されている場所
受 入 数 量	※設計数量 〇〇〇 m <sup>3</sup>
受 入 費	〇〇〇円/m <sup>3</sup>
受 入 期 間	令和 年 月 日 から 令和 年 月 日
支 払 期 限	請求書を受理した日から30日以内

上記について、建設発生土の受入者（以下「甲」という。）と建設発生土の搬入者（以下「乙」という。）は、建設発生土の受入に関し、次のとおり契約を締結し、この契約の締結を証するため本契約書2通を作成し、甲乙記名押印のうえ、各自その1通を保有するものとする。

令和 年 月 日

甲 住 所  
名 称  
代表者

印

乙 住 所  
名 称  
代表者

工事請負契約書と同一とする

印

(別紙)

令和 年 月 日

## 建設発生土受入証明書

搬入業者 様

受入者 住所  
氏名

建設発生土の受入について、下記のとおりであることを証明いたします。

工事名 ○○公園整備工事

受入数量 ○○○m<sup>3</sup>

受入完了日 令和 年 月 日

上記の建設発生土の受入について確認しました。

令和 年 月 日

監督員職氏名

〈施工計画書例〉

## 指定機械一覧

機 種	規 格	台 数	使 用 工 種	排出ガス対策	メーカー
			(記入例) 土砂掘削 岩盤掘削 法面整形 路盤工締固め	(記入例) 第〇次基準 排対 浄化装置付 非排対	

〈理由書例〉

## 排出ガス対策型建設機械を使用できない理由書

令和 年 月 日

(監督員) 様

(受注者名)

工 事 名			
現 場 代 理 人 名			
機 械 名		規 格	
当該工事で使用できない理由 (例) 自社持機械を使用し、排出ガス浄化装置を装着するには資金不足のため			
今後の使用方針 (例) 資金調達が出来次第、排出ガス浄化装置を設置する予定(1年後を予定)			
機 械 名		規 格	
当該工事で使用できない理由 (例) 自社持機械に対応する排出ガス浄化装置メーカーが市場にないため			
今後の使用方針 (例) 自社持機械に対応する排出ガス浄化装置メーカーが市場に追加されしだい、装着する予定			



別記様式

技能士活用状況報告書  
(予定・実績)

※予定・実績のどちらかに○をつけること。

令和 年 月 日

帯広市長 上野庸介 様

受注者 住所

氏名

1 工事名等

工事番号	工事箇所	請負代金額
工事名		

2 技能士活用状況等

工事種別	技能士検定職種	予定			実績								
		技能士の活用予定の有無	当該工事に従事予定の技能士氏名(1名)及び技能士数		当該工事に従事した労働者数(実人員)								
			級別	氏名	左の者を含む技能士数	技能士				技能士以外	計		
工種	該当の有無	特級	1級	2級	左以外の級	技能士以外	計						
1	地盤改良(ウエルポイント)工					人	人	人	人	人	0	人	
2						人	人	人	人	人	人	0	人
3	コンクリート工					人	人	人	人	人	人	0	人
4						人	人	人	人	人	人	0	人
5	積ブロック工					人	人	人	人	人	人	0	人
6	さく井工					人	人	人	人	人	人	0	人
7	コンクリート補修工					人	人	人	人	人	人	0	人
8	石積み工					人	人	人	人	人	人	0	人
9	植栽工					人	人	人	人	人	人	0	人
10	塗装工					人	人	人	人	人	人	0	人
11	とび工					人	人	人	人	人	人	0	人
12	防水工					人	人	人	人	人	人	0	人
13	区画線工					人	人	人	人	人	人	0	人
14	上記以外の工種					人	人	人	人	人	人	0	人
合計						0	人	0	人	0	人	0	人

注 「コンクリート圧送施工」、「造園」、「路面標示施工」、「塗装」の4職種については、平成22年4月10日以後に入札の公告等を行う工事から、土木工事における活用状況を工事施行成績評定において評価することとしています。

【予定】記載方法等

- ※1 当該工事において、1～13に示す工事種別に該当する工種がある場合は、該当する工事種別の「該当の有無」欄に「○」を記載してください。  
なお、1～13に示す工事種別に該当する工種が無い場合、又は該当する工種以外の工種がある場合は、「14 上記以外の工種」の「該当の有無」欄に「○」を記載してください。
- ※2 「該当の有無」欄に「○」を記載した工事種別については、「技能士の活用予定の有無」欄に、技能士を活用する予定がある場合は「○」を、技能士を活用する予定が無い場合は「×」を記載してください。
- ※3 「技能士の活用予定の有無」欄に「○」を記載した工種については、当該工事に従事予定の技能士の級別及び氏名を1名分記載するとともに、従事予定の技能士数を記載してください。  
なお、技能士の氏名が確定していない場合は、「未定」と記載してください。
- ※4 「14 上記以外の工種」において、技能士が従事する場合は、「技能士検定職種」欄に従事する技能士の技能士検定職種の名称を記載するとともに、上記※3と同様に記載してください。  
なお、複数の職種に従事する場合は、適宜欄を追加して記載してください。
- ※5 この報告書(予定)は、技能士活用の有無にかかわらず、工事工程表と同時に提出してください。

【実績】記載方法等

- ※1 この報告書(実績)は、報告書(予定)の記載内容に追記して作成してください。その際、予定の記載内容に変更が生じた場合であっても、予定の記載内容は変更しないでください。ただし、設計変更等により新たに該当する工種が増えた場合については、「該当の有無」欄に「○」を記載し、実績のみ必要事項を記載してください。
- ※2 「該当の有無」欄に「○」を記載した工事種別について、その工種に従事した労働者の実人員(氏名の総数)を技能士の級別及び技能士以外に分類して記載してください。  
なお、労働者とは、常用労働者、季節労働者、それ以外の労働者のすべてが含まれます。
- ※3 この報告書(実績)は、技能士活用の有無にかかわらず、工事完成通知書と同時に提出してください。

留意事項(予定)

技能士活用状況報告書 (予定・実績)

※予定・実績のどちらかに○をつけること。

予定に「○」をつける

令和〇〇年〇〇月〇〇日

帯広市長 上野庸介 様

契約書の内容を忘れずに記入してください。

受注者 住所 帯広市〇〇条〇〇丁目〇〇番地

氏名 〇〇〇建設株式会社

提出年月日は必ず記載してください

1. 工事名等

工事番号	〇〇〇〇	工事箇所	帯広市〇〇条〇〇丁目	請負代金額	〇〇〇,〇〇〇,〇〇〇円
工事名	〇〇公園整備工事				

2. 技能士活用状況等

工事種別	該当の有無	技能士検定職種	予定				実績					
			技能士の活用予定の有無	当該工事に従事予定の技能士氏名(1名)及び技能士数			当該工事に従事した労働者数(実人員)					
				級別	氏名	左の者を含む技能士数	技能士				技能士以外	計
工種						特級	1級	2級	左以外の級			
1 地盤改良(ウエルポイント)工		ウエルポイント施工										0人
2	○	型枠施工	×									0人
3 コンクリート工	○	コンクリート圧送施工	○	1	〇〇 〇〇	4						0人
4	○	鉄筋施工	○		未定	6						0人
5 積ブロック工	○	コンクリート積みブロック施工	×									0人
6 さく井工		さく井										0人
7 コンクリート補修工	※1	樹脂接	※2		※3							0人
8 石積み工		石材施										0人
9 植栽工		造園										0人
10 塗装工		塗装										0人
		とび										0人
		防水施										0人
13 区画線工		路面標示施工										0人
14 上記以外の工種	○	(例) 建築	※4	○	2	〇〇 〇〇	2					0人
合計						12	0人	0人	0人	0人	0人	0人

該当する工種があった場合は、「○」をつけてください ※技能士活用有無に関わらず、いずれかに必ず「○」がつきます

該当工種に対する活用予定を「○」「×」で記入

該当工種に対する活用予定を「○」「×」で記入

技能士数は、実人員(氏名の総数)で記入願います

合計の人数が合っているか確認してください

「14」の記載に注意

技能士を活用しない場合、この欄は空欄とします

【予定】記載方法等

- ※1 当該工事において、1~13に示す工事種別に該当する工種がある場合は、該当する工事種別の「該当の有無」欄に「○」を記載してください。なお、1~13に示す工事種別に該当する工種が無い場合、又は該当する工種以外の工種がある場合は、「14 上記以外の工種」の「該当の有無」欄に「○」を記載してください。
- ※2 「該当の有無」欄に「○」を記載した工事種別については、「技能士の活用予定の有無」欄に、技能士を活用する予定がある場合は「○」、技能士を活用する予定が無い場合は「×」を記載してください。
- ※3 「技能士の活用予定の有無」欄に「○」を記載した工種については、当該工事に従事予定の技能士の級別及び氏名を1名分記載するとともに、従事予定の技能士数を記載してください。なお、技能士の氏名が確定していない場合は、「未定」と記載してください。
- ※4 「14 上記以外の工種」において、技能士が従事する場合は、「技能士検定職種」欄に従事する技能士の技能士検定職種の名称を記載するとともに、上記※3と同様に記載してください。なお、複数の職種が従事する場合は、適宜欄を追加して記載してください。
- ※5 この報告書(予定)は、技能士活用の有無にかかわらず、工事工程表と同時に提出してください。

【実績】記載方法等

- ※1 この報告書(実績)は、報告書(予定)の記載内容に追記して作成してください。その際、予定の記載内容に変更しないください。ただし、設計変更等により新たに該当する工種が増えた場合については、「該当の有無」欄に「○」を記載してください。
- ※2 「該当の有無」欄に「○」を記載した工事種別について、その工種に従事した労働者の実人員(氏名の総数)を技能工の級別及び技能工以外(トータル)型で記載してください。なお、労働者とは、常用労働者、季節労働者、それ以外の労働者のすべてが含まれます。
- ※3 この報告書(実績)は、技能士活用の有無にかかわらず、工事完成通知書と同時に提出してください。

記載にあたっては、※1~※4

留意事項(実績)

技能士活用状況報告書

(予定・実績)

実績に「○」をつける

※予定・実績のどちらかに○をつけること。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

帯広市長 上野庸介 様

最終実績の内容を忘れずに記入してください。

受注者 住所 帯広市〇〇条〇〇丁目〇〇番地

氏名 〇〇〇建設株式会社

提出年月日は必ず記載してください

1. 工事名等

工事番号	〇〇〇〇	工事箇所	帯広市〇〇条〇〇丁目	請負代金額	〇〇〇,〇〇〇,〇〇〇円
工事名	〇〇公園整備工事				

2. 技能士活用状況等

工事種別	工事種	該当の有無	技能士検定職種	予 定				実 績									
				技能士の活用予定の有無	当該工事に従事予定の技能士氏名(1名)及び技能士数			当該工事に従事した労働者数(実人員)									
					級別	氏 名	左の者を含む技能士数	技 能 士				技能士以外	計				
特級	1級	2級	左以外の級														
1	地盤改良(ウェルポイント)工		ウェルポイント施工					人						0	人		
2		○	型枠施工	×				人	0	人	0	人	0	人	5	人	
3	コンクリート工	○	コンクリート圧送施工	○	1	〇〇 〇〇	4	人	0	人	2	人	2	人	0	人	
4		○	鉄筋施工	○		未 定	6	人	0	人	2	人	1	人	1	人	
5	積ブロック工	○	コンクリート積みブロック施工	×				人	0	人	0	人	0	人	0	人	
6	さく井工		さく井					人	人	人	人	人	人	人	0	人	
7	コンクリート補修工	※1	樹脂接着剤注入施工					人	人	人	※2	人	人	人	0	人	
8	石積み工		石材施工					人	人	人	人	人	人	人	0	人	
9	植栽工		造園					人	人	人	人	人	人	人	0	人	
10	塗装工		塗装					人	人	人	人	人	人	人	0	人	
11	とび工		とび					人	人	人	人	人	人	人	0	人	
12	防水工		防水施工					人	人	人	人	人	人	人	0	人	
13	区画線工		路面標示施工					人	人	人	人	人	人	人	0	人	
14	上記以外の工種	○		×				人	0	人	0	人	0	人	0	人	
合 計							10	人	0	人	4	人	3	人	1	人	
														13	人	21	人

合計の人数が合っているか確認してください

人数は、延べ人数ではなく、『氏名の総数』を記載します

主査技能士以外の労働者数も記載が必要です

【予定】記載方法等

- ※1 当該工事において、1～13に示す工事種別に該当する工種がある場合は、当該工事種別の「該当の有無」欄に「○」を記載してください。なお、1～13に示す工事種別に該当する工種が無い場合、又は該当する工種以外の工種がある場合は、「14 上記以外の工種」欄に「○」を記載してください。
- ※2 「該当の有無」欄に「○」を記載した工事種別については、「技能士の活用予定の有無」欄に「○」を記載し、技能士を活用する予定が無い場合は「×」を記載してください。
- ※3 「技能士の活用予定の有無」欄に「○」を記載した工事種別については、「技能士の活用予定の有無」欄に「○」を記載し、技能士を活用する予定が無い場合は「×」を記載してください。また、「技能士の活用予定の有無」欄に「○」を記載した工事種別については、「技能士の活用予定の有無」欄に「○」を記載し、技能士を活用する予定が無い場合は「×」を記載してください。
- ※4 「14 上記以外の工種」欄に「○」を記載した場合は、「技能士検定職種」欄に従事する技能士の姓・名を1名分記載してください。また、「技能士検定職種」欄に従事する技能士の姓・名を1名分記載してください。
- ※5 この報告書(予定)は、技能士活用の有無にかかわらず、工事工程表と同時に提出してください。

設計変更等で工種が増えた場合のみ「○」を追加します(工種が減の場合は削除しない)

予定の記載内容は変更しない

合計の人数が合っているか確認してください

記載にあたっては、※1～※2を一読願います。

【実績】記載方法等

- ※1 この報告書(実績)は、報告書(予定)の記載内容に追記して作成してください。その際、予定の記載内容に変更が生じた場合であっても、予定の記載内容は変更しないでください。ただし、設計変更等により新たに該当する工種が増えた場合については、「該当の有無」欄に「○」を記載し、実績のみ必要事項を記載してください。
- ※2 「該当の有無」欄に「○」を記載した工事種別について、その工種に従事した労働者の実人員(氏名の総数)を技能士の級別及び技能士以外に分類して記載してください。なお、労働者とは、常用労働者、季節労働者、それ以外の労働者のすべてが含まれます。
- ※3 この報告書(実績)は、技能士活用の有無にかかわらず、工事完成通知書と同時に提出してください。

# 社内完成検査報告書

令和 年 月 日

帯広市長 上野庸介 様

受注者 住 所

氏 名

工事名

---

上記工事について、社内検査を行った結果、完成と認められるので報告します。

検査年月日 令和 年 月 日

検査員職氏名

立会人氏名

令和 年 月 日

## 借 受 書

帯広市長 上野庸介 様

受注者 住 所  
氏 名

下記のとおり図書等について借受けました。

工 事 名 ○○公園整備工事  
借 受 場 所 帯広市都市環境部環境室みどりの課  
借 受 期 間 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日  
返納予定日 令和 年 月 日

### 借受品明細

品 目	品質・規格・性能	単位	貸与数量

### 注意事項

- 個人情報保護法等の関係法令に基づき、借受品に含まれる個人情報が、借受者以外の第三者に漏洩することがないように、取扱いには十分注意すること。
- 借受期間中に、物品の紛失、損傷、汚損等が発生した場合は、借受者の責任において復元すること。
- 借受品の転貸は絶対にしないこと。

上記の図書等の貸出しについて確認しました。

令和 年 月 日

監督員職氏名

令和 年 月 日

## 返 納 書

帯広市長 上野庸介 様

受注者 住 所  
氏 名

下記のとおり図書等について返納いたします。

工 事 名 ○○公園整備工事  
返 納 場 所 帯広市都市環境部環境室みどりの課  
借 受 期 間 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日  
返 納 予 定 日 令和 年 月 日

### 借受品明細

品 目	品質・規格・性能	単位	貸与数量

上記の図書等の返納について確認しました。

令和 年 月 日

監督員職氏名



課長	課長補佐	係長	係	係
		課長補佐 事務取扱		

## 施 工 体 制 報 告 書

令和 年 月 日

帯広市長 上野 庸介 様

受注者 住所

氏名

工 事 名

---

当該工事の施工体制を、別紙のとおり定めたので関係書類を添付して報告します。

令和 年 月 日

監督員

様

(受注者名)

現場代理人

立 会 願

下記項目について、立会を願います。

工 事 名		
項 目	内 容	
希 望 日 時		

-----  
上記項目について令和 年 月 日立会を実施した。

令和 年 月 日

監督員職氏名

(主 旨)

本様式は、受注者が工事監督員の立会を受ける必要がある場合に工事監督員に提出するものである。



公園一覧表整理番号及び公園緑地図箇所番号

設置公示行為の日付、番号  
(設置又は翌年3月31日)

# 市 公 園 台 帳

都市計画決定番号を記入  
(事務事業資料参照)



台番 号	630	公園名	光南緑地 <b>都市計画公園名を記入</b>		都市緑地	公園 管理者	帯広市	公園 コード	2・2・630	図面対 照番号		
都市名	帯広市	位置	帯広市東6条南19丁目～東9条南19丁目		A	土地の 沿革	平成9年10月15日 土地開発公社が1.92㍓の用地を占行取得する。 平成13年度より公園整備事業により市が用地買戻しをはじめ、平成16年度に用地の買戻しを完了。					
設置 年月日	平成18年3月31日		設置 公示番号	公園予定地 決定内容								
項目	計 画 決 定					事 業 決 定						
	決 定	変 更	変 更	変 更	変 更	決 定	決 定	変 更	変 更			
告 示 年 月 日	平成12年5月22日		平成14年3月26日									
告 示 番 号	市告示 第150号		市告示 第87号		土地の経緯、史跡、名称の由来 等の当該公園のあらましを記入							
面 積	国 有 地											
	道 有 地											
	市 有 地	2,206 ㎡		計画決定告示行為の日付、番号								
	民 有 地	受渡年月日を記入										
	計	2,206 ㎡										
要 買 収 面 積												
執 行 年 度 割												
変 更 内 容	告示日											
当 初 完 成 年 月 日 ( 供 用 開 始 年 月 日 )	開 設 面 積 (㎡)					要 買 収 面 積	事 業 主 体	公園内の事故及び起訴に関する概要				
	国 有 地	道 有 地	市 有 地	民 有 地	合 計							
平 成 年 月 日 (新規のみ)												
項 目	年 月 日	H17年9月30日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日			
建 蔽 率 (%)	公園施設現況調書より 建物総面積÷公園敷地面積×100											
運 動 施 設 面 積 比 (%)												
緑 被 面 積 (㎡)	3,192		㎡									
高 木 本 数 (本)	37		本		樹種別樹木現況調書より転記							
重 要 施 設 の 概 要	占用物件等の概要		有料施設の概要		維持管理に参加している団体の概要		その他特記すべき事項					
維持管理団体が決定している場合は記入												
字 名	地 番	地 目	地 積	取得年月日	旧 所 有 者		取得区分	取得金額	所 在 地 分 区 分	備 考		
					所 有 者	住 所						
筆数が多く書ききれない場合は 敷地現況調書に記入												
											特記事項を記入	

**様式のみ作成  
(内容は発注者で記入)**

# 公園施設現況調書

公園コード	2・2・630	公園名	光緑緑地
-------	---------	-----	------

図面番号と合致すること

対図 番号	設置 区分	施設 区分	施設名	受渡年月日	数量等		構造規模	敷地 面積	建物 面積	延べ 面積	占用・兼用・特許・有料施設内訳								
					工事受渡日を記入	構造規模					許可の種類	許可を受けている名称	管理委託先	料金	利用者数	年間収入	年間管理費	収支	
1		休養	背なしベンチ	H19.11.30	1	基	木製 L=1.8m												
2		"	サークルベンチ	"	1	基	木製 φ=2.5m												
3		"	シェルター	"	1	基	FRP製屋根 鋼製支柱 木製ベンチ		0.49 m <sup>2</sup>										
4	遊戯		コンビネーション遊具	"	1	基	木製 すべり台 プランコ イヤプランコ 他												
5	"		砂場	"	1	箇所	17.5m <sup>2</sup>												
6	"		鉄棒	"	1	基	既存施設の移設 (リ フレッシュ)												
7	"		バスケットコート	"	1	基	ミニバスケット用												
8	"		スプリング遊具	"	2	基	鋳鉄製(白馬・ポニー)												
9	"		築山	"	1	箇所	H=2.5m												
10	運動		バックネット	既存	1	基	H=2.5m L=10.0m												
11	便益		水飲場	H19.11.10	1	基	身障者対応												
12	"		便所	"	1	棟	身障者対応 木造モルタル 時計付き		7.3 m <sup>2</sup>										
13	管理		車止め	H19.11.20	1	基	木製 H=0.8m												
14	"		園名板	"	1	基	木製 H=1.8m												
15	"		木柵	"	136	m	木製 H=0.5m												
16	"		照明灯	"	1	基	高圧NH 200V-220W (シングル)												
17	広場		運動ク'ラウンド'	H25.10.30	1,210	m <sup>2</sup>	タ'スト舗装												
18	"		インターロッキング'	"	16	m <sup>2</sup>	ブロック舗装												
19	"		芝生	"	830	m <sup>2</sup>													

都市計画決定番号を記入  
(事務事業資料参照)

都市計画公園名を記入

建築確認一計画通知に基づき記入

撤去したもののについて、取り消し線を引き、工事名を記入

都市公園法施設区分を記入

新たに設置したものは、網掛けし、工事名を記入

例

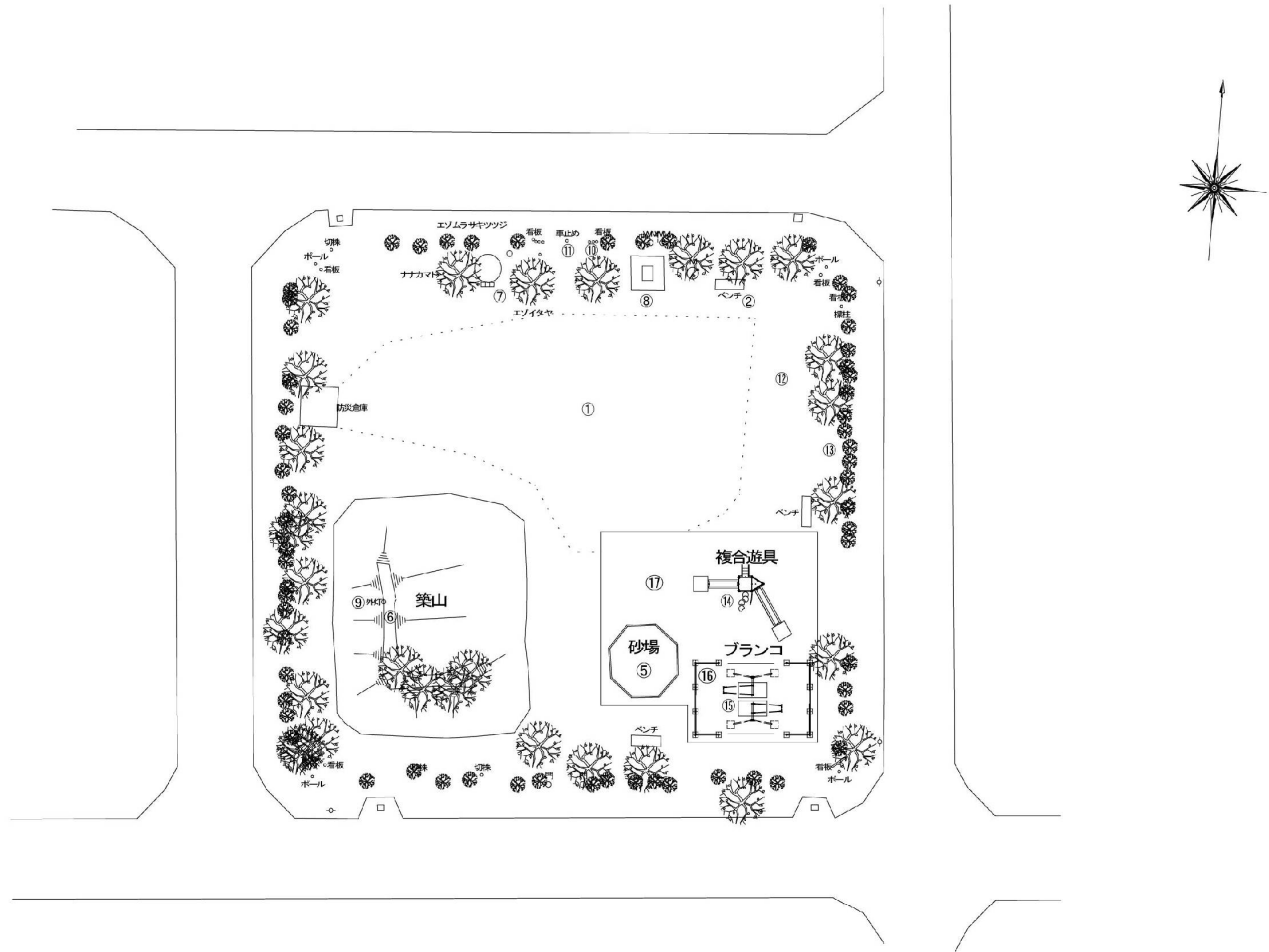




例

都市公園台帳図

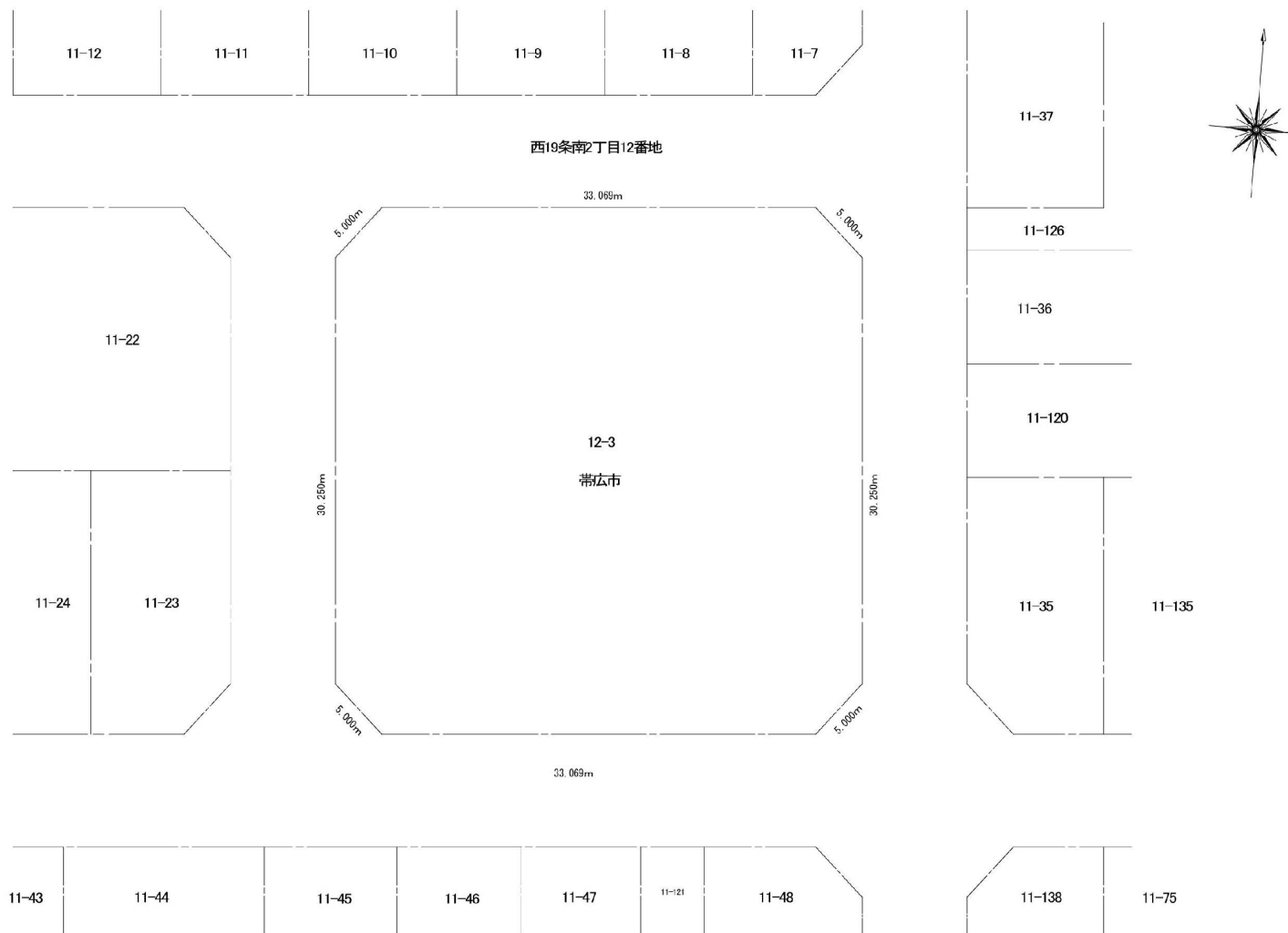
公園コード	2・2・58	公園種別	街区公園
公園名	めぐみ第1児童公園		
開設年月日	S 60年 8 月 21日	縮尺	S=1:300



例

公園用地敷地図

公園コード	2・2・58	公園種別	街区公園
公園名	めぐみ第1児童公園		
開設年月日	S 60年 8 月 21日	縮尺	S=1:300

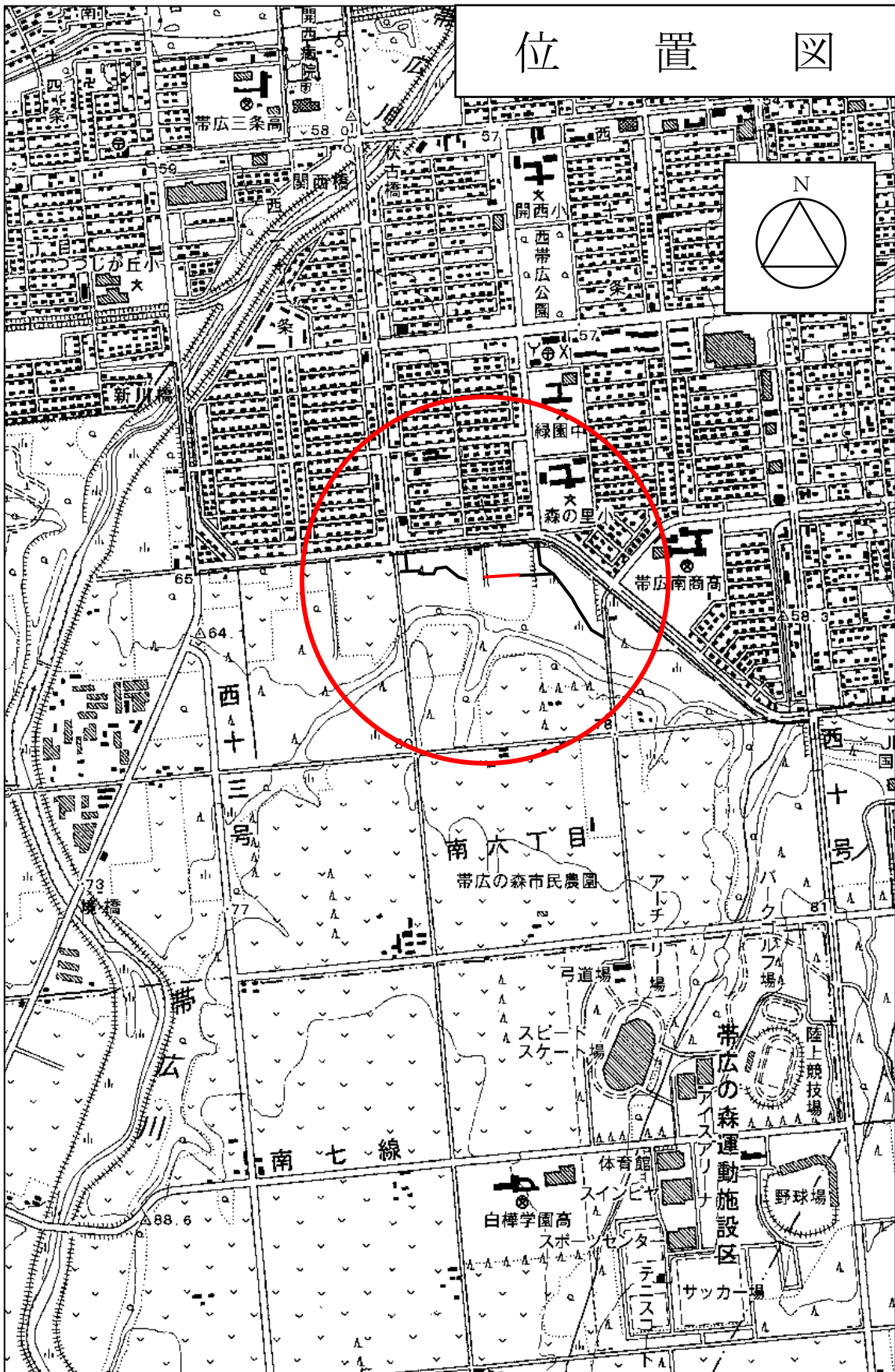


位

置



# 位置図





## 工 事 数 量 総 括 表

工事名            帯広の森園路整備工事（西11～12号間）

帯広市都市環境部環境室みどりの課

## 工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	公園緑地整備・改修		
						基盤整備		
						概要		
						現場条件	単位	数量
基盤整備		式		1				
敷地造成工		式		1				
掘削工		式		1				
掘削 [ 流用土 ]	土質：土砂	m3		6		< 1 m3当たり > 掘削	m 3	1
掘削 [ 残土 ]	土質：土砂	m3		80		< 1 m3当たり > 掘削	m 3	1
路床盛土工		式		1				
路床盛土	土質：土砂、施工幅員；2.5m未満	m3		5		< 1 m3当たり > 路床盛土	m 3	1
法面整形工		式		1				
法面整形(盛土部)		m2		20		< 1 m2当たり > 法面整形	m 2	1
残土処理工		式		1				

## 工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	概要		
						現場条件	単位	数量
土砂等運搬	土質：土砂 【ダンプトラック[オンロード ・ディーゼル] 10t積級 】【タイヤ損耗費 10t積級 良好 供用日】	m3		80		< 1 m3当たり > 土砂等運搬	m3	1
残土等処分	【受入費   】	m3		80		< 1 m3当たり > 残土等処分	m3	1
法面工		式		1				
植生工		式		1				
公園張芝	芝規格：公園芝、肥料の有無： 無し	m2		40		< 1 m2当たり > 公園植栽 張芝工	m2	1
法覆基材工		式		1				
すき取り土法覆基材	厚さ：15cm	m2		20		< 1 m2当たり > すき取り土張付	m2	1
施設整備		式		1				
園路広場整備工		式		1				
舗装準備工		式		1				

## 工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	公園緑地整備・改修 施設整備		
						概要		
						現場条件	単位	数量
不陸整正	補足材：無し	m2		258		< 1 m2当たり > 不陸整正	m 2	1
土系舗装工		式		1				
凍上抑制層(車道部)	路盤材種類・規格：再生骨材0 ～80級、仕上り厚：21cm 【再生骨材   0～80mm】 【ダンプトラック [ オンロード ・ディーゼル ]   10 t 積級 】 【タイヤ損耗費   10 t 積級 良好 供用日】	m2		240		< 10 m2当たり > 下層路盤 ( 車道・路肩部 )  土砂等運搬	m 2  m 3	10  1.75
下層路盤(車道・路肩部)	路盤材種類・規格：再生骨材0 ～40級、仕上り厚：25cm 【再生骨材   0～40mm】 【ダンプトラック [ オンロード ・ディーゼル ]   10 t 積級 】 【タイヤ損耗費   10 t 積級 良好 供用日】	m2		258		< 10 m2当たり > 下層路盤 ( 車道・路肩部 )  土砂等運搬	m 2  m 3	10  2.08
土舗装	材料種類・規格：緑色スクリンク 入、舗装厚：4cm	m2		258		< 1 m2当たり > 土舗装工	m2	1
仮設工		式		1				
交通管理工		式		1				
(交通誘導警備員)		(人日)		( 2 )		< 1 人日当たり > 交通誘導警備員A	人日	1

## 工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	公園緑地整備・改修		
						共通仮設費		
						摘要		
						現場条件	単位	数量
直接工事費		式		1				
共通仮設		式		1				
共通仮設費		式		1				
準備費		式		1				
(立木・伐開物・抜根物運搬費)	種類：すきとり物、運搬距離：9.5km以下	(t)		( 16.9)		< 1 t当たり > 立木、伐開物、抜根物等運搬	t	1
(立木・伐開物・抜根物処分費)	種類：すきとり物 【産業廃棄物一般廃棄物処理料金   スキ取り物 ボサ類 柵鈴 建興業】	(t)		( 16.9)		< 1 t当たり > 処分費 (m3)	m3	1.25
現場環境改善費(率計上)		式		1				
共通仮設費(率計上)		式		1				
純工事費		式		1				
現場管理費		式		1				

## 工事数量総括表

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	摘要		
						現場条件	単位	数量
工事名	帯広の森園路整備工事(西11~12号間)			(当初)	事業区分	公園緑地整備・改修		
					工事区分	共通仮設費		
工事原価		式		1				
一般管理費等		式		1				
工事価格		式		1				
消費税相当額		式		1				
工事費計		式		1				

公 共

2026年度施行

見積用

帯広の森園路整備工事（西11～12号間） 実施設計書

---

参考資料

本資料は、入札額を算定する際に参考とする資料であり、契約上の制約を有するものではない。

帯広市

## 積算情報

設計書番号	26-18-A1-0019-0	設計者名	
出張所名	帯広市		
適用単価	一般土木		
入札日(開札日)	2026年 6月 9日		
歩掛適用年月	2026年 5月18日		
単価適用年月	2026年 5月18日		
適用単価 地区	生コン	K01:帯広市・音更町・芽室町・中札内村・更別村・幕別町・池田町・豊頃の一部	
	合材	K01:帯広市、音更町、芽室町、清水町、土幌町、幕別町、池田町、中札内村、更別村、山岳部除く新得町と鹿追町、豊頃町一部	
	石材	K05:帯広市・音更町・芽室町・幕別町・池田町・中札内村・更別村・豊頃町の一部・土幌町の一部	
	港湾石材		
	燃料	K00:帯広建設管理部	
適用工種	公園工事		

積算時想定工事期間	2026年 6月16日 ~ 2026年 8月20日 (66日)		
工期の設定	通常工期	実施工期: 66日	完成期限: 2026年 8月20日
冬期労務補正	2026年 6月 ~ 2026年 8月	冬期労務補正: なし	時間的制約: 時間的制約無し

2026/05/01 09:37:36

## 工事概要一覧表

事業種別	工事箇所	水系・路河川名	橋梁名等
帯広の森整備事業	帯広市西22条南5丁目		帯広の森

費 目	本工事費	帯広の森園路整備工事（西11～12号間）

工 事 概 要	No	当 初	変 更
	1	延長80.00m、幅員3.00m	
	2	土系舗装工 258m <sup>2</sup>	
	3	敷地造成工、法面工 一式	
	4		
	5		
	6		
	7		

## 諸経費情報

	I C T 補正	しない
	週休 2 日制の補正	月単位の週休 2 日
共通仮設費	主たる工種	0 9 : 公園工事
	施工地域補正	補正無し ( 地方部 施工場所が一般交通等の影響を受けない場合 )
	除雪工事補正	補正無し
現場環境改善費	計上の有無	する
	市街地補正	市街地以外
現場管理費	施工地域補正	補正無し ( 地方部 施工場所が一般交通等の影響を受けない場合 )
	緊急工事補正	しない
	砂防・地滑り工事補正	しない
工期延長等に伴う現場維持費	計上の有無	しない
	施工地域補正	補正無し ( 地方部 施工場所が一般交通等の影響を受けない場合 )
	工期延長等日数	0 日
	延長期間最終日の基準年月	2026/05
一般管理費等	財団法人等の補正	しない
	前払金割合による補正	3 5 % を超えるもの
	契約保証に係る補正	

## 工 事 費 総 括 表

費 目	請 工 事 費 (消費税等を含む)	工 事 価 格 (消費税等を含まない)	消 費 税 等 相 当 額	適 用
工事費				
本工事				
附带工事費				
測量及び試験費				
用地費及び補償費				
機械器具費				
管繕費				
工事雑費				
応急工事費				
請負対象額				

注：上段は現設計

下段は設計変更

## 設計内訳書

工事名	帯広の森園路整備工事（西11～12号間）			当初	事業区分		主たる工種		公園工事	
				工事区分	公園緑地整備・改修	公園工事	公園工事	工事区分	基盤整備	施工地域
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要	
基盤整備			式	1						
敷地造成工			式	1						
掘削工			式	1						
掘削 [ 流用土 ]		土質：土砂	m3	6					単-1号 週休有	
掘削 [ 残土 ]		土質：土砂	m3	80					単-2号 週休有	
路床盛土工			式	1						
路床盛土		土質：土砂、施工幅員 ；2.5m未満	m3	5					単-3号 週休有	
法面整形工			式	1						
法面整形(盛土部)			m2	20					単-4号 週休有	
残土処理工			式	1						

## 設計内訳書

工事名	帯広の森園路整備工事（西11～12号間）			当初	事業区分	公園緑地整備・改修		主たる工種	公園工事		
	工事区分・工種・種別・細別			規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
	土砂等運搬			土質：土砂 【ダンプトラック【オンロード・ディーゼル】 10t積級】【タイヤ損耗費 10t積級 良好 供用日】	m3	80					単-5号 週休有
	残土等処分			【受入費   】	m3	80					単-6号 週休有
	法面工				式	1					
	植生工				式	1					
	公園張芝			芝規格：公園芝、肥料の有無：無し	m2	40					単-7号 週休有
	法覆基材工				式	1					
	すき取り土法覆基材			厚さ：15cm	m2	20					単-8号 週休有
	施設整備				式	1					
	園路広場整備工				式	1					
	舗装準備工				式	1					

## 設計内訳書

工事名	帯広の森園路整備工事（西11～12号間）			当初	事業区分	公園緑地整備・改修	主たる工種	公園工事	
	工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
	不陸修正	補足材：無し	m2	258					単-9号 週休有
	土系舗装工		式	1					
	凍上抑制層(車道部)	路盤材種類・規格：再生骨材0～80級、仕上げ厚：21cm 【再生骨材   0～80mm】【ダンプトラック [ オンロード・ディーゼル ]   10t積級】【タイヤ損耗費   10t積級 良好 供用日】	m2	240					単-10号 週休有
	下層路盤(車道・路肩部)	路盤材種類・規格：再生骨材0～40級、仕上げ厚：25cm 【再生骨材   0～40mm】【ダンプトラック [ オンロード・ディーゼル ]   10t積級】【タイヤ損耗費   10t積級 良好 供用日】	m2	258					単-11号 週休有
	土舗装	材料種類・規格：緑色スクリーニングス、舗装厚：4cm	m2	258					単-12号 週休有
	仮設工		式	1					
	交通管理工		式	1					

## 設計内訳書

工事名	帯広の森園路整備工事（西11～12号間）			当初	事業区分	公園緑地整備・改修	主たる工種	公園工事	
	工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
交通誘導警備員			人日	2					単-13号 週休有
直接工事費			式	1					
共通仮設			式	1					
共通仮設費			式	1					
準備費			式	1					
立木・伐開物・抜根物運搬費	種類：すきとり物、運搬距離：9.5km以下		t	16.9					単-14号 概数 週休有
立木・伐開物・抜根物処分費	種類：すきとり物 【産業廃棄物一般廃棄物処理料金   スキ取り物 ポサ類】		t	16.9					単-15号 概数 週休有
現場環境改善費(率計上)			式	1					
共通仮設費(率計上)			式	1					
純工事費			式	1					
現場管理費			式	1					

## 設計内訳書

工事名	帯広の森園路整備工事（西11～12号間）			当 初		事業区分		主たる工種			
				公園緑地整備・改修		公園工事					
				工事区分		施工地域		補正無し			
工事区分・工種・種別・細別				規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
工事原価					式	1					
一般管理費等					式	1					
工事価格					式	1					
消費税相当額					式	1					
工事費計					式	1					

## 工場管理費

1	間接労務費対象額 管理費区分7		
2	間接労務費率		
3	間接労務費計上額		
4	工場管理費 工場純工事費		
5	非対象額計 ( - )		管理費区分5 , 9
6	工場管理費対象額		
7	工場管理費率		
8	工場管理費計上額		

## 共通仮設費

1	主たる工種 単独 (当該工事)	公園工事	
2	主たる工種 合算工事		
3	対象工事費		
4	直接工事費		
5	準備費 (処分費)		
6	事業損失防止施設費		
7	対象工事費に含まれる処分費 単独 (追加工事)		
8	現工事		
9	合算工事		
10	非対象額計 (-)		
11	管理費区分 1		橋梁、PC桁、門扉、ポンプ等購入費
12	管理費区分 2, 7		工場原価
13	管理費区分 5		一般管理費等のみ対象額
14	管理費区分 9		間接費非対象額
15	管理費区分 T		全処分費のうち 3% または 3000万円を超える額
16	対象額支給品 (+)		
17	無償貸付機械評価額 (+)		
18	共通仮設費対象額 単独 (追加工事)		
19	現工事		
20	合算工事		
21	処分費等を除く共通仮設費対象額 単独 (追加工事)		調整工事入力で使用
22	現工事		
23	合算工事		
24	共通仮設費 (率分) 率 (補正前) 単独 (追加工事)		
25	現工事		
26	合算工事		
27	施工地域等補正 単独 (追加工事)		*補正係数を乗じる
28	現工事		
29	共通仮設費 (率分) 率 (補正後)		週休 2 日制補正係数 1.01 有り
30	計上額 単独 (追加工事)		
31	現工事		
32	合算工事		
33	調整工事計上額		

## 共通仮設費

34	現場環境改善費対象工事費		
35	直接工事費		
36	非対象額計 ( - )		
37	管理費区分 1		橋梁、PC桁、門扉、ポンプ等購入費
38	管理費区分 2 , 7		工場原価
39	管理費区分 5		一般管理費等のみ対象額
40	管理費区分 9		間接費非対象額
41	管理費区分 T		
42	対象額支給品 ( + )		
43	無償貸付機械評価額 ( + )		
44	現場環境改善費対象額 ( P i ) 単独 ( 追加工事 )		
45	現工事		
46	合算工事		
47	現場環境改善費 率 ( 補正前 ) 単独 ( 追加工事 )		
48	現工事		
49	合算工事		
50	施工地域等補正 単独 ( 追加工事 )		
51	現工事		
52	現場環境改善費 率 ( 補正後 )		
53	計上額 単独 ( 追加工事 )		
54	現工事		
55	合算工事		
56	調整工事計上額		
57	共通仮設費 ( 積上分 )		
58	運搬費		
59	準備費・仮設費		
60	事業損失防止施設費		
61	安全費		
62	役務費		
63	技術管理費		
64	営繕費		
65	現場環境改善費		
66	共通仮設費計		

## 現場管理費

1	主たる工種	公園工事	
2	単独（追加工事）純工事費		
3	単独（追加工事）直接工事費		
4	単独（追加工事）共通仮設費		
5	非対象額計（-）		
6	管理費区分2, 7		工場原価
7	管理費区分5		一般管理費等のみ対象額
8	管理費区分9		間接費非対象額
9	管理費区分T		全処分費のうち3%または3000万円を超える額
10	対象額支給品（+）		
11	無償貸付機械評価額（+）		
12	現場管理費対象純工事費 単独（追加工事）		
13	現工事		
14	合算工事		
15	処分費等を除く 現場管理費対象純工事費		調整工事入力で使用
16	現工事		
17	合算工事		
18	率（補正前） 単独（追加工事）		
19	現工事		
20	合算工事		
21	施工地域等補正 単独（追加工事）		*補正係数を乗じる
22	現工事		
23	施工時期補正		
24	緊急工事補正		
25	真夏日補正		
26	砂防・地すべり補正 単独（追加工事）		
27	現工事		
28	率（補正後）		週休2日制補正係数 1.02有り
29	計上額 単独（追加工事）		
30	現工事		
31	合算工事		
32	調整工事計上額		

## 一般管理費等

事務所名 帯広市都市環境部環境室みどりの課  
 発注年月 契約区分

工事番号 第 回変更  
 主工種 公園工事

1	工事原価		
2	純工事費		
3	現場管理費		
4	工期延長等に伴う現場維持費		
5	工場製作原価		
6	非対象額計(-)		
7	管理費区分9		支給品を除く間接費非対象額
8	管理費区分T		全処分費のうち3%または3000万円を超える額
9	一般管理費等対象工事原価 単独(追加工事)		
10	現工事		
11	合算工事		
12	処分費等を除く 一般管理費等対象工事原価		調整工事入力で使用
13	現工事		
14	合算工事		
15	率(補正前) 単独(追加工事)		
16	現工事		
17	合算工事		
18	前払金支出割合による補正係数 単独(追加工事)		
19	現工事		
20	財団法人等による補正係数 単独(追加工事)		
21	現工事		
22	契約保証に係る一般管理費等対象工事原価(当初設計)		
23	契約保証に係る補正值 単独(追加工事)		
24	一般管理費等 率(補正後)		
25	計上額 単独(追加工事)		
26	現工事		
27	合算工事		
28	調整工事計上額		

## 処 分 費 等 指 定 行 一 覧 表

細別名称	規格	単位	-	-	-
処分費対象名称	処分費対象規格	単位	数量	単価	金額
残土等処分	【受入費   】	m3			
残土等処分		m 3	1		
標準単価			1		
材料構成比率		%	1		
受入費		%	1		
立木・伐開物・抜根物処分費	種類：すきとり物 【産業廃棄物一般廃棄物処理料金   スキ取り物 ポサ類 】	t			
処分費 (m3)		m3	1.25		
産業廃棄物一般廃棄物処理料金	スキ取り物 ポサ類	空m 3	100		

表示されている数量・単価・金額は入力参考値

## 処 分 費 等 指 定 行 一 覧 表

細別名称	規格	単位	-	-	-
処分費対象名称	処分費対象規格	単位	数量	単価	金額

表示されている数量・単価・金額は入力参考値

### 処分費内諸経費対象額・算出根拠（一般管理費等算出用通常設計書）

<b>P：共通仮設費対象額（処分費算出用）</b> <small>（直接工事費計＋支給品＋事業損失防止施設費＋無償貸付機械等評価額＋共通仮設費対象外額＋その他対象額）</small>	
<b>W：処分費等の占める割合</b> $W = S / (P + Q)$	
<b>S t：Wが3%相当の処分費等の価格（W &gt; 3%の場合）</b> $S t = (P + Q) \times 3\%$	

S：処分費等の価格	Pに含まれる処分費等	Q：準備費に含まれる処分費等

#### 処分費内諸経費対象額・算出区分

算出区分	算出条件	算出根拠
A	「W 3%」かつ「S 30,000,000」のとき	処分費等（S）の全額を率計算の対象とする
B	「W 3%」かつ「S > 30,000,000」のとき	処分費等の率計算の対象は3千万円とする
C	「W > 3%」のとき	（S t）を率計算の対象とする。ただし、対象となる金額は3千万円を上限とする

算出区分	処分費に占める諸経費対象額	処分費に占める諸経費対象外額

## 内訳書 &lt; データ無し &gt;

名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要

上段から 既契約数量 / 出来高数量 / 出来高累計 / 前回残工事 / 今回残工事

## 1次単価表

単-1号

単価適用年月	20260518
歩掛適用年月	20260518
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
掘削 [ 流用土 ]		m3				
規格	土質 : 土砂	単位	数量		1	単価
名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
掘削	土質 = 土砂 : 施工方法 = オブカット : 押土の有無 = 無し : 障害の有無 = 無し : 施工数量 = 5,000m3未満 :	m 3	1			CB210100 管理費区分 無 単-16号
計						
単価						

## 1次単価表

単-2号

単価適用年月	20260518
歩掛適用年月	20260518
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
掘削 [ 残土 ]		m3				
規格	土質 : 土砂	単位			1	単価
名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
掘削	土質 = 土砂 : 施工方法 = オブカット : 押土の有無 = 無し : 障害の有無 = 無し : 施工数量 = 5,000m3未満 :	m 3	1			CB210100 管理費区分 無 単-17号
計						
単価						

# 1次単価表

単-3号

単価適用年月	20260518
歩掛適用年月	20260518
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	路床盛土				単位	m3	数量	1	単価	
規格	土質：土砂、施工幅員；2.5m未満				単位		数量		単価	
	名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要			
	路床盛土	施工幅員 = 2.5m未満：	m 3	1			CB210520 管理費区分 無 単-18号			
計										
単価										

# 1次単価表

単-4号

単価適用年月	20260518
歩掛適用年月	20260518
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	数量	単価	金額	単価
法面整形(盛土部)		m2	1			
名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
法面整形	整形箇所 = 盛土部 : 法面締固めの有無 = 有り : 現場制約の有無 = 無し : 土質 = 土質土、砂 及び砂質土、粘性土 : 費用の内訳 = 全ての費用 :	m 2	1			CB220010 管理費区分 無 単-19号
計						
単価						

# 1次単価表

単-5号

単価適用年月	20260518
歩掛適用年月	20260518
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
土砂等運搬	土砂等発生現場 = 標準：積込機種・規格 = バックホウ山積0.8m3 (平積0.6m3) : 土質 = 土砂 (岩塊・玉石混り土含む) : DID区間の有無 = 有り : 運搬距離 (km) (DID区間有) = 5.0km以下 : 【ダンプトラック [ オンロード・ディーゼル ]   10 t 積級 】 【 タイヤ損耗費   10 t 積級 良好 供用日 】	m3	1			CB210110 管理費区分 無 単-20号
計						
単価						

# 1次単価表

単-6号

単価適用年月	20260518
歩掛適用年月	20260518
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
残土等処分	【受入費   】	m3	1			CB210560 管理費区分 T 単-21号
計						
単価						

## 1次単価表

単-7号

単価適用年月	20260518
歩掛適用年月	20260518
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
公園張芝	芝規格：公園芝、肥料の有無：無し	m2	1			WYB00001 管理費区分 無 単-22号
計						
単価						

# 1次単価表

単-8号

単価適用年月	20260518
歩掛適用年月	20260518
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	すき取り土法覆基材				単位	m2	数量	1	単価	
規格	厚さ : 15cm				単位		数量		単価	
名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要				
すき取り土張付		m2	1			DX042220 管理費区分 無 単-23号				
計										
単価										

# 1次単価表

単-9号

単価適用年月	20260518
歩掛適用年月	20260518
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	不陸整正				単位	m2	数量	1	単価	
規格	補足材：無し				単位		数量			
名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要				
不陸整正	補足材料の有無 = 無し：費用の内訳 = 全ての費用：	m 2	1			CB410010 管理費区分 無 単-24号				
計										
単価										

## 1次単価表

単-10号

単価適用年月	20260518
歩掛適用年月	20260518
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
凍上抑制層(車道部)		m2				
規格	路盤材種類・規格：再生骨材0～80級、仕上り厚：21cm【再生骨材   0～80mm】【ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]   10t積級】【タイヤ損耗費   10t積級 良好 供用日】	単位	数量		10	単価
名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
下層路盤(車道・路肩部)	全仕上り厚(実数入力) = 210mm : 施工区分 = 2層施工 : 材料 = 路盤材(各種) : 費用の内訳 = 全ての費用 : 【再生骨材   0～80mm】	m2	10			CB410030 管理費区分 無 単-25号
土砂等運搬	土砂等発生現場 = 標準 : 積込機種・規格 = バックホウ山積1.4m3(平積1.0m3) : 土質 = 土砂(岩塊・玉石混り土含む) : DID区間の有無 = 有り : 運搬距離(km)(DID区間有) = 1.5km以下 : 【ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]   10t積級】【タイヤ損耗費   10t積級 良好 供用日】	m3	1.75			CB210110 管理費区分 無 単-26号
計						
単価						

# 1次単価表

単-11号

単価適用年月	20260518
歩掛適用年月	20260518
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
下層路盤(車道・路肩部)	全仕上り厚(実数入力) = 250mm : 施工区分 = 2層施工 : 材料 = 路盤材(各種) : 費用の内訳 = 全ての費用 : 【再生骨材   0 ~ 40 mm】	m2	10			CB410030 管理費区分 無 単-27号
土砂等運搬	土砂等発生現場 = 標準 : 積込機種・規格 = バックホウ山積1.4m3(平積1.0m3) : 土質 = 土砂(岩塊・玉石混り土含む) : DID区間の有無 = 有り : 運搬距離(km)(DID区間有) = 1.5km以下 : 【ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]   10t積級】 【タイヤ損耗費   10t積級 良好 供用日】	m3	2.08			CB210110 管理費区分 無 単-28号
計						
単価						

## 1次単価表

単-12号

単価適用年月	20260518
歩掛適用年月	20260518
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
土舗装	材料種類・規格：緑色スクリング入、舗装厚：4cm	m2	1			
ダスト舗装工		m2	1			WYB00003 管理費区分 無 単-29号 建設物価調査会策定
計						
単価						

# 1次単価表

単-13号

単価適用年月	20260518
歩掛適用年月	20260518
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員		人日	1			WB010211 管理費区分 無 単-30号
計						
単価						

# 1次単価表

単-14号

単価適用年月	20260518
歩掛適用年月	20260518
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
立木・伐開物・抜根物運搬費	種類：すきとり物、運搬距離：9.5km以下	t	1			
名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
立木、伐開物、抜根物等運搬	運搬距離 = 9 . 5 k m以下：損耗費補修費区分 = 良好：	t	1			DX090800 管理費区分 無 単-31号
計						
単価						

# 1次単価表

単-15号

単価適用年月	20260518
歩掛適用年月	20260518
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
立木・伐開物・抜根物処分費		t				
規格	種類：すきとり物【産業廃棄物一般廃棄物処理料金   スキ取り物 ポサ類】	単位			1	単価
名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費 (m3)	【産業廃棄物一般廃棄物処理料金   スキ取り物 ポサ類】	m3	1.25			WB020051 管理費区分 T 単-32号
計						
単価						

### 参考資料(1) (施工パッケージ)

単-16号

CB210100

単価適用年月	20260518
歩掛適用年月	20260518
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要
掘削	土砂 オブカット無し 無し 5,000m3未満	m <sup>3</sup>			1	
標準単価						
労務構成比率		%				
運転手(特殊)	割増対象賃金比 0.788	%				R0114 管理費区分 無 二省労務単価
材料構成比率		%				
軽油	ミニローリー渡し	%				Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価
機械構成比率		%				
バックホウ(クローラ型) [標準型・超低騒音型]	排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.8 m <sup>3</sup>	%				M000202090 管理費区分 無

### 参考資料(1) (施工パッケージ)

単-17号

CB210100

単価適用年月	20260518
歩掛適用年月	20260518
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要
掘削	土砂 オブカット 無し 無し 5,000m3未満	m 3			1	
標準単価						
労務構成比率		%				
運転手(特殊)	割増対象賃金比 0.788	%				R0114 管理費区分 無 二省労務単価
材料構成比率		%				
軽油	ミニローリー渡し	%				Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価
機械構成比率		%				
バックホウ(クローラ型) [標準型・超低騒音型]	排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.8 m 3	%				M000202090 管理費区分 無

### 参考資料(1) (施工パッケージ)

単-18号

CB210520

単価適用年月	20260518
歩掛適用年月	20260518
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格 / 条件	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要
路床盛土		m <sup>3</sup>			1	
規格	2.5m未満					
標準単価						
労務構成比率		%				
普通作業員	割増対象賃金比 0.842	%				R0102 管理費区分 無 二省労務単価
特殊作業員	割増対象賃金比 0.780	%				R0101 管理費区分 無 二省労務単価
材料構成比率		%				
軽油	ミニローリー渡し	%				Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価
機械構成比率		%				
振動ローラ(舗装用)[ハンドガイド式]	運転質量0.8~1.1t 排出ガス対策型基準値及び 低・超低騒音型によらず適用 リース置場渡し	%				L001070002 管理費区分 無 刊行物単価

### 参考資料(1) (施工パッケージ)

単-19号

CB220010

単価適用年月	20260518
歩掛適用年月	20260518
労務調整-超過-規制	1.000-0000020

名称	規格 / 条件	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要
法面整形	盛土部 有り 無し 埴質土、砂及び砂質土、粘性土 全ての費用	m <sup>2</sup>			1	
標準単価						
労務構成比率		%				
普通作業員	割増対象賃金比 0.842	%				R0102 管理費区分 無 二省労務単価
運転手(特殊)	割増対象賃金比 0.788	%				R0114 管理費区分 無 二省労務単価
土木一般世話役	割増対象賃金比 0.753	%				R0125 管理費区分 無 二省労務単価
材料構成比率		%				
軽油	ミニローリー渡し	%				Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価
機械構成比率		%				
バックホウ(クローラ) [標準]	山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> ) 排出ガス対策型基準値及び低・超低騒音型によらず適用リース置場渡し	%				L001010007 管理費区分 無 刊行物単価

### 参考資料(1) (施工パッケージ)

単-20号

CB210110

単価適用年月	20260518
歩掛適用年月	20260518
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要
土砂等運搬	標準 バックホウ山積0.8m3 (平積0.6m3) 土砂 (岩塊・玉石混り土含む) 有り 5.0km以下	m3			1	
標準単価						
労務構成比率		%				
運転手 (一般)	割増対象賃金比 0.813	%				R0115 管理費区分 無 二省労務単価
材料構成比率		%				
軽油	ミニローリー渡し	%				Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価
機械構成比率		%				
ダンプトラック [ オンロード・ディーゼル ] 【タイヤ損耗費】	10t積級 【10t積級 良好 供用日】	%				M000301005 管理費区分 無 刊行物単価

### 参考資料(1)(施工パッケージ)

単-21号

CB210560

単価適用年月	20260518
歩掛適用年月	20260518
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	数量	単価	摘要	
残土等処分		m <sup>3</sup>	1			
名称	規格 / 条件	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要
標準単価						
材料構成比率		%				
受入費		%				Y007600000-001 管理費区分 T

参考資料(1)

単-22号

WYB00001

単価適用年月	20260518
歩掛適用年月	20260518
労務調整-超過-規制	1.000-0000020

名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
公園植栽 張芝工		人	0.2			R0125 管理費区分 無 二省労務単価 Z1
造園工	割増対象賃金比 0.788	人	1.1			R0104 管理費区分 無 二省労務単価 Z1
普通作業員	割増対象賃金比 0.842	人	2.3			R0102 管理費区分 無 二省労務単価 Z1
公園芝	ケンタッキーブルーグラス80%以上 生ロール芝 30×200×3cm以上	m2	100			WYB00002 管理費区分 無 帯広市見積策定単価 Z1
諸雑費(率+まるめ)	4% 全体の合計金額に率を乗じた金額を算出する。	式	1			ZS8000004 管理費区分 無 ZZ1
計						
単価						

### 参考資料(1)

単-23号

DX042220

単価適用年月	20260518
歩掛適用年月	20260518
労務調整-超過-規制	1.000-0000020

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
すき取り土張付		m2			100	
名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役	割増対象賃金比 0.753	人	0.1			R0125 管理費区分 無 二省労務単価 Z1
普通作業員	割増対象賃金比 0.842	人	0.38			R0102 管理費区分 無 二省労務単価 Z1
バックホウ運転費	規格区分 = 山積0.8m3級 (平積0.6m3) : 機械 損料補正 = 補正なし(土砂等) : 排対区分 = 排出 が対策型(第2次基準) :	時間	2.8			DX022400 管理費区分 無 単-33号
諸雑費(率+まるめ)	Z1の合計金額に0.4%を乗じた金額を算出する。	式	1			ZS8000004 管理費区分 無 ZZ1
計						
単価						

## 参考資料(1)(施工パッケージ)

単-24号

CB410010

単価適用年月	20260518
歩掛適用年月	20260518
労務調整-超過-規制	1.000-0000020

名称	規格 / 条件	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要
不陸整正		m <sup>2</sup>			1	
無し 全ての費用						
標準単価						
労務構成比率		%				
運転手(特殊)	割増対象賃金比 0.788	%				R0114 管理費区分 無 二省労務単価
普通作業員	割増対象賃金比 0.842	%				R0102 管理費区分 無 二省労務単価
特殊作業員	割増対象賃金比 0.780	%				R0101 管理費区分 無 二省労務単価
土木一般世話役	割増対象賃金比 0.753	%				R0125 管理費区分 無 二省労務単価
材料構成比率		%				
軽油	ミニローリー渡し	%				Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価
機械構成比率		%				
モータグレーダ[土工用]	排出ガス対策(2014年規制)ブレード幅3.1m	%				M000701021 管理費区分 無
ロードローラ[マカダム]	運転質量10~12t 排出ガス対策型基準値及び低・超低騒音型によらず適用 リース置場渡し	%				L001050002 管理費区分 無 刊行物単価

### 参考資料(1) (施工パッケージ)

単-24号

CB410010

単価適用年月	20260518
歩掛適用年月	20260518
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	不陸整正				単位	m <sup>2</sup>	数量	1	単価	
規格	無し 全ての費用				単位		数量		単価	
名称	規格 / 条件	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要				
タイヤローラ [普通型]	運転質量13~14t 排出ガス対策型基準値及び低・超低騒音型によらず適用 リース置場渡し	%				L001060004 管理費区分 無 刊行物単価				

## 参考資料(1)(施工パッケージ)

単-25号

CB410030

単価適用年月	20260518
歩掛適用年月	20260518
労務調整-超過-規制	1.000-0000020

名称	規格 / 条件	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要
下層路盤(車道・路肩部)		m <sup>2</sup>			1	
規格	210mm 2層施工 路盤材(各種) 全ての費用					
標準単価						
労務構成比率		%				
運転手(特殊)	割増対象賃金比 0.788	%				R0114 管理費区分 無 二省労務単価
普通作業員	割増対象賃金比 0.842	%				R0102 管理費区分 無 二省労務単価
特殊作業員	割増対象賃金比 0.780	%				R0101 管理費区分 無 二省労務単価
土木一般世話役	割増対象賃金比 0.753	%				R0125 管理費区分 無 二省労務単価
材料構成比率		%				
再生骨材	0 ~ 80 mm	%				ZKD2058000 管理費区分 無 地方資材単価
軽油	ミニローリー渡し	%				Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価
機械構成比率		%				
モータグレーダ[土工用]	排出ガス対策(2014年規制)ブレード幅3.1m	%				M000701021 管理費区分 無

### 参考資料(1) (施工パッケージ)

単-25号

CB410030

単価適用年月	20260518
歩掛適用年月	20260518
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	下層路盤(車道・路肩部)				単位	m <sup>2</sup>	数量	1	単価	
規格	210mm 2層施工 路盤材(各種) 全ての費用				単位		数量		単価	
名称	規格/条件	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要				
ロードローラ [マカダム]	運転質量10~12t 排出ガス対策型基準値及び低・超低騒音型によらず適用 リース置場渡し	%				L001050002 管理費区分 無 刊行物単価				
タイヤローラ [普通型]	運転質量13~14t 排出ガス対策型基準値及び低・超低騒音型によらず適用 リース置場渡し	%				L001060004 管理費区分 無 刊行物単価				

### 参考資料(1) (施工パッケージ)

単-26号

CB210110

単価適用年月	20260518
歩掛適用年月	20260518
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	構成比率	標準単価	数量	単価	摘要
土砂等運搬	標準 バックホウ山積1.4m3 (平積1.0m3) 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 有り 1.5km以下	m3			1		
標準単価							
労務構成比率		%					
運転手(一般)	割増対象賃金比 0.813	%					R0115 管理費区分 無 二省労務単価
材料構成比率		%					
軽油	ミニローリー渡し	%					Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価
機械構成比率		%					
ダンプトラック [ オンロード・ディーゼル ] 【タイヤ損耗費】	10t積級 【10t積級 良好 供用日】	%					M000301005 管理費区分 無 刊行物単価

## 参考資料(1)(施工パッケージ)

単-27号

CB410030

単価適用年月	20260518
歩掛適用年月	20260518
労務調整-超過-規制	1.000-0000020

名称	規格 / 条件	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要
下層路盤(車道・路肩部)		m <sup>2</sup>			1	
規格	250mm 2層施工 路盤材(各種) 全ての費用	単位				
標準単価						
労務構成比率		%				
運転手(特殊)	割増対象賃金比 0.788	%				R0114 管理費区分 無 二省労務単価
普通作業員	割増対象賃金比 0.842	%				R0102 管理費区分 無 二省労務単価
特殊作業員	割増対象賃金比 0.780	%				R0101 管理費区分 無 二省労務単価
土木一般世話役	割増対象賃金比 0.753	%				R0125 管理費区分 無 二省労務単価
材料構成比率		%				
再生骨材	0 ~ 40 mm	%				ZKD2054000 管理費区分 無 地方資材単価
軽油	ミニローリー渡し	%				Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価
機械構成比率		%				
モータグレーダ[土工用]	排出ガス対策(2014年規制)ブレード幅3.1m	%				M000701021 管理費区分 無

### 参考資料(1) (施工パッケージ)

単-27号

CB410030

単価適用年月	20260518
歩掛適用年月	20260518
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	下層路盤(車道・路肩部)				単位	m <sup>2</sup>	数量	1	単価	
規格	250mm 2層施工 路盤材(各種) 全ての費用				単位		数量		単価	
名称	規格/条件	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要				
ロードローラ [マカダム]	運転質量10~12t 排出ガス対策型基準値及び低・超低騒音型によらず適用 リース置場渡し	%				L001050002 管理費区分 無 刊行物単価				
タイヤローラ [普通型]	運転質量13~14t 排出ガス対策型基準値及び低・超低騒音型によらず適用 リース置場渡し	%				L001060004 管理費区分 無 刊行物単価				

## 参考資料(1)(施工パッケージ)

単-28号

CB210110

単価適用年月	20260518
歩掛適用年月	20260518
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	構成比率	標準単価	単価	摘要
土砂等運搬	標準 バックホウ山積1.4m3(平積1.0m3) 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 有り 1.5km以下	m3			1	
標準単価						
労務構成比率		%				
運転手(一般)	割増対象賃金比 0.813	%				R0115 管理費区分 無 二省労務単価
材料構成比率		%				
軽油	ミニローリー渡し	%				Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価
機械構成比率		%				
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 【タイヤ損耗費】	10t積級 【10t積級 良好 供用日】	%				M000301005 管理費区分 無 刊行物単価

## 参考資料(1)

単-29号

WYB00003

単価適用年月	20260518
歩掛適用年月	20260518
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
特殊作業員	割増対象賃金比 0.780	人	0.16			R0101 管理費区分 無 二省労務単価 Z1
普通作業員	割増対象賃金比 0.842	人	0.17			R0102 管理費区分 無 二省労務単価 Z1
砕石ダスト(緑色スクリーニングス)	粒径0~2.5mm	m3	5.08			WYB00004 管理費区分 無 帯広市見積策定単価 Z1
表層安定剤	塩化カルシウム	kg	120			WYB00005 管理費区分 無 刊行物単価 Z1
振動ロー運転	排出カース対策型搭乗式コンパインド型3~4t	日	0.37			WYB00006 管理費区分 無 単-34号 Z1
諸雑費(まるめ)		式	1			ZS3000004 管理費区分 無 ZZ1
計						
単価						

参考資料(1)

単-30号

WB010211

単価適用年月	20260518
歩掛適用年月	20260518
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員 A		人	1			R0803 管理費区分 無 二省労務単価 Z1
諸雑費(まるめ)		式	1			ZS3000004 管理費区分 無 ZZ1
計						
単価						

### 参考資料(1)

単-31号

DX090800

単価適用年月	20260518
歩掛適用年月	20260518
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
立木、伐開物、抜根物等運搬	9.5 km以下 良好	t	10			
名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要
ダンプトラック運転	ダンプトラック = 10 t 積級 : 機械損料補正 = 補正なし(土砂等) : タイヤ損耗費 = 良好 :	時間	4.5			DX023000 管理費区分 無 単-35号 Z1
諸雑費(まるめ)		式	1			ZS3000004 管理費区分 無 ZZ1
計						
単価						

参考資料(1)

単-32号

WB020051

単価適用年月	20260518
歩掛適用年月	20260518
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費 (m3)		m3	100			
名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要
産業廃棄物一般廃棄物処理料金	スキ取り物 ボサ類	空m3	100			ZKD5831600 管理費区分 T 地方資材単価
計						
単価						

### 参考資料(2)

単-33号

DX022400

単価適用年月	20260518
歩掛適用年月	20260518
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	時間	数量	単価	金額	単価
バックホウ運転費	山積0.8m3級 (平積0.6m3) 補正なし(土砂等) 排出ガス対策型(第2次基準)			1			
名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
運転手(特殊)	割増対象賃金比 0.788	人	0.17			R0114 管理費区分 無 二省労務単価 Z1	
軽油	ミニローリー渡し	L	15			Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価 Z1	
バックホウ(クローラ) [標準]	排ガス型(第2次) 山積0.8m3	時間	1			M000202019 管理費区分 無 刊行物単価 Z1	
諸雑費(まるめ)		式	1			ZS3000004 管理費区分 無 ZZ1	
計							
単価							

参考資料(2)

単-34号

WYB00006

単価適用年月	20260518
歩掛適用年月	20260518
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	規格	単位	日	数量	単価	金額	単価
振動ローラ運転	排出ガス対策型搭乗式コンパインド型3~4t			1			
名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
運転手(特殊)	割増対象賃金比 0.788	人	1			R0114 管理費区分 無 二省労務単価 Z1	
軽油	ミニローリー渡し	L	11			Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価 Z1	
振動ローラ(舗装用)[搭乗・コンパインド式]	運転質量3~4t 排出ガス対策型基準値及び低・超低騒音型によらず適用 リース置場渡し	日	1.52			L001070011 管理費区分 無 刊行物単価 Z1	
諸雑費(まるめ)		式	1			ZS3000004 管理費区分 無 ZZ1	
計							
単価							

## 参考資料(2)

単-35号

DX023000

単価適用年月	20260518
歩掛適用年月	20260518
労務調整-超過-規制	1.000-0000020

名称	規格	単位	時間	数量	単価	金額	単価
ダンプトラック運転	10t積級 補正なし(土砂等) 良好			1			
名称	規格/条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
運転手(一般)	割増対象賃金比 0.813	人	0.17			R0115 管理費区分 無 二省労務単価 Z1	
軽油	ミニローリー渡し	L	9.8			Z006702002 管理費区分 無 刊行物単価 Z1	
ダンプトラック [ オンロード・ディーゼル ]	10t積級	時間	1			M000301005 管理費区分 無 刊行物単価 Z1	
タイヤ損耗費	10t積級 良好	時間	1			Z010020102 管理費区分 無 刊行物単価 Z1	
諸雑費(まるめ)		式	1			ZS3000004 管理費区分 無 ZZ1	
計							
単価							





## 集計リスト（機械損料）

工事名		帯広の森園路整備工事（西11～12号間）			当 初		工事区分	公園緑地整備・改修		
コード		名称			単位	数量	集計区分	機械損料		
コード	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要			
M000202090	バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型〕	排出ガス対策型（第3次基準値） 山積0.8 m <sup>3</sup>	供用日	0.605			補正有り			
M000301005	ダンプトラック〔オンロード・ディーゼル〕	10 t積級	供用日	2.756			補正有り 刊行物単価			
M000202019	バックホウ（クローラ）〔標準〕	排ガス型（第2次） 山積0.8 m <sup>3</sup>	時間	0.559			補正有り グリーン 刊行物単価			
M000701021	モータグレーダ〔土工用〕	排出ガス対策（2014年規制）ブレード幅3.1 m	供用日	1.56			補正有り			
MM000001	その他（機械）		式	1			補正有り			
M000301005	ダンプトラック〔オンロード・ディーゼル〕	10 t積級	時間	7.604			補正有り 刊行物単価			

## 集計リスト(賃料)

コード	工事名	帯広の森園路整備工事(西11~12号間)	当初	工事区分	公園緑地整備・改修			
				集計区分	賃料			
コード	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
L001070002	振動ローラ(舗装用)[ハンドガイド式]	運転質量0.8~1.1t 排出ガス対策型基準値及び低・超低騒音型によらず適用 リース置場渡し	日	0.166			刊行物単価	
L001010007	バックホウ(クローラ)[標準]	山積0.8m <sup>3</sup> (平積0.6m <sup>3</sup> ) 排出ガス対策型基準値及び低・超低騒音型によらず適用 リース置場渡し	日	0.193			刊行物単価	
L001050002	ロードローラ[マカダム]	運転質量10~12t 排出ガス対策型基準値及び低・超低騒音型によらず適用 リース置場渡し	日	1.623			刊行物単価	
L001060004	タイヤローラ[普通型]	運転質量13~14t 排出ガス対策型基準値及び低・超低騒音型によらず適用 リース置場渡し	日	1.597			刊行物単価	
L001070011	振動ローラ(舗装用)[搭乗・コンバインド式]	運転質量3~4t 排出ガス対策型基準値及び低・超低騒音型によらず適用 リース置場渡し	日	1.45			刊行物単価	

## 集計リスト（労務）

コード	工事名	帯広の森園路整備工事（西11～12号間）	当初	工事区分	公園緑地整備・改修			
				集計区分	労務			
コード	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
R0114	運転手（特殊）	割増対象賃金比 0.788	人	5.711			補正有り 二省労務単価	
R0102	普通作業員	割増対象賃金比 0.842	人	4.562			補正有り 二省労務単価	
R0101	特殊作業員	割増対象賃金比 0.780	人	1.903			補正有り 二省労務単価	
R0125	土木一般世話役	割増対象賃金比 0.753	人	1.228			補正有り 二省労務単価	
R0115	運転手（一般）	割増対象賃金比 0.813	人	3.497			補正有り 二省労務単価	
R0104	造園工	割増対象賃金比 0.788	人	0.439			補正有り 二省労務単価	
RR000001	その他（労務）		式	1			補正有り	
R0803	交通誘導警備員 A	割増対象賃金比0.860	人	2			補正有り 二省労務単価	





## 集計リスト（材料）

コード	工事名	帯広の森園路整備工事（西11～12号間）	当初	工事区分	公園緑地整備・改修			
				集計区分	材料	単価	金額	摘要
コード	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
Z006702002	軽油	ミニローリー渡し	L	447.264			刊行物単価	
ZS8000004	諸雑費（率+まるめ）		式	1				
ZS3000004	諸雑費（まるめ）		式	1				
ZKD2058000	再生骨材	0～80mm	m <sup>3</sup>	64.06			地方資材単価	
ZZ000001	その他（材料）		式	1				
ZKD2054000	再生骨材	0～40mm	m <sup>3</sup>	81.982			地方資材単価	
Z010020102	タイヤ損耗費	10t積級 良好	時間	7.604			刊行物単価	
ZKD5831600	産業廃棄物一般廃棄物処理料金	スキ取り物 ボサ類	空m <sup>3</sup>	21.125			地方資材単価	





## 集計リスト（その他）

コード	工事名	帯広の森園路整備工事（西11～12号間）	当初	工事区分	公園緑地整備・改修			
				集計区分	その他			
コード	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
	公園芝	ケンタッキ-ブルグラス80%以上 生ロ-ル芝 30×200×3cm以上	m2	40			帯広市見積策定単価	
	碎石ダスト（緑色スクリーニングス）	粒径0～2.5mm	m3	13.106			帯広市見積策定単価	
	表層安定剤	塩化カルシウム	kg	309.6			刊行物単価	

## 集計リスト（管理費区分別）

凡 例	管理費区分 1:現場管理費/一般管理費等対 管理費区分 2:工場管理費/一般管理費等対 管理費区分 5:一般管理費等対象 管理費区分 7:工場管理/間接労務/一般管 管理費区分 9:全ての間接費対象外及び循 管理費区分 P:輸送に係る間接費の積算を 管理費区分 T:処分費等対象									
	工事名	帯広の森園路整備工事（西11～12号間）				当初	事業区分	公園緑地整備・改修		
細別名称	規格	単位	数量	管理費区分 1 管理費区分 P	管理費区分 2 管理費区分 T	工事区分	管理費区分 5	管理費区分 7	管理費区分 9	
残土等処分	【受入費   】	m3	80							
立木・伐開物・抜根物処分費	種類：すきとり物 【産業廃棄物一般廃棄物処理料金 t   スキ取り物 ポサ類 】		16.9							

## 法定福利費概算額

## 【機械設備以外の工事】

1	主たる工種	公園工事	
2	工事価格		
3	非対象額計( - )		(4) + (5) + (6) + (7)
4	工場製作原価		機械設備の場合は製作原価
5	機器単体費		電気設備工事のみ
6	その他費目		VE管理費・スライド足切額等
7	業務委託料		電気設備工事のみ
8	対象額		(2) - (3)
9	法定福利費の割合		
10	法定福利費概算額		(8) × (9)

## 【機械設備工事】

11	主たる工種		
12	据付工事原価		
13	据付工事原価に占める法定福利費の割合		
14	据付工事原価に占める法定福利費		(12) × (13)
15	製作原価		
16	設計技術費対象額		(12) + (15)
17	設計技術費対象額に占める法定福利費		(14)
18	設計技術費対象額に占める法定福利費の割合		(17) ÷ (16)
19	設計技術費		
20	設計技術費に占める法定福利費		(19) × (18)
21	工事原価		(12) + (15) + (19)
22	一般管理費等対象額に占める法定福利費		(14) + (20)
23	一般管理費等対象額に占める法定福利費の割合		(22) ÷ (21)
24	一般管理費等		
25	一般管理費等に占める法定福利費		(24) × (23)
26	法定福利費概算額		(14) + (20) + (25)

## 【合計】

27	法定福利費概算額		(10) + (26)
----	----------	--	-------------

令和 8 年度施行

帯 広 の 森 園 路 整 備 工 事 ( 西 11 ~ 12 号 間 )

都 市 環 境 部 み ど り の 課

計画平面図

S=1:1000



帯広市西二十一条  
南五丁目

帯広市西二十二条南五丁目

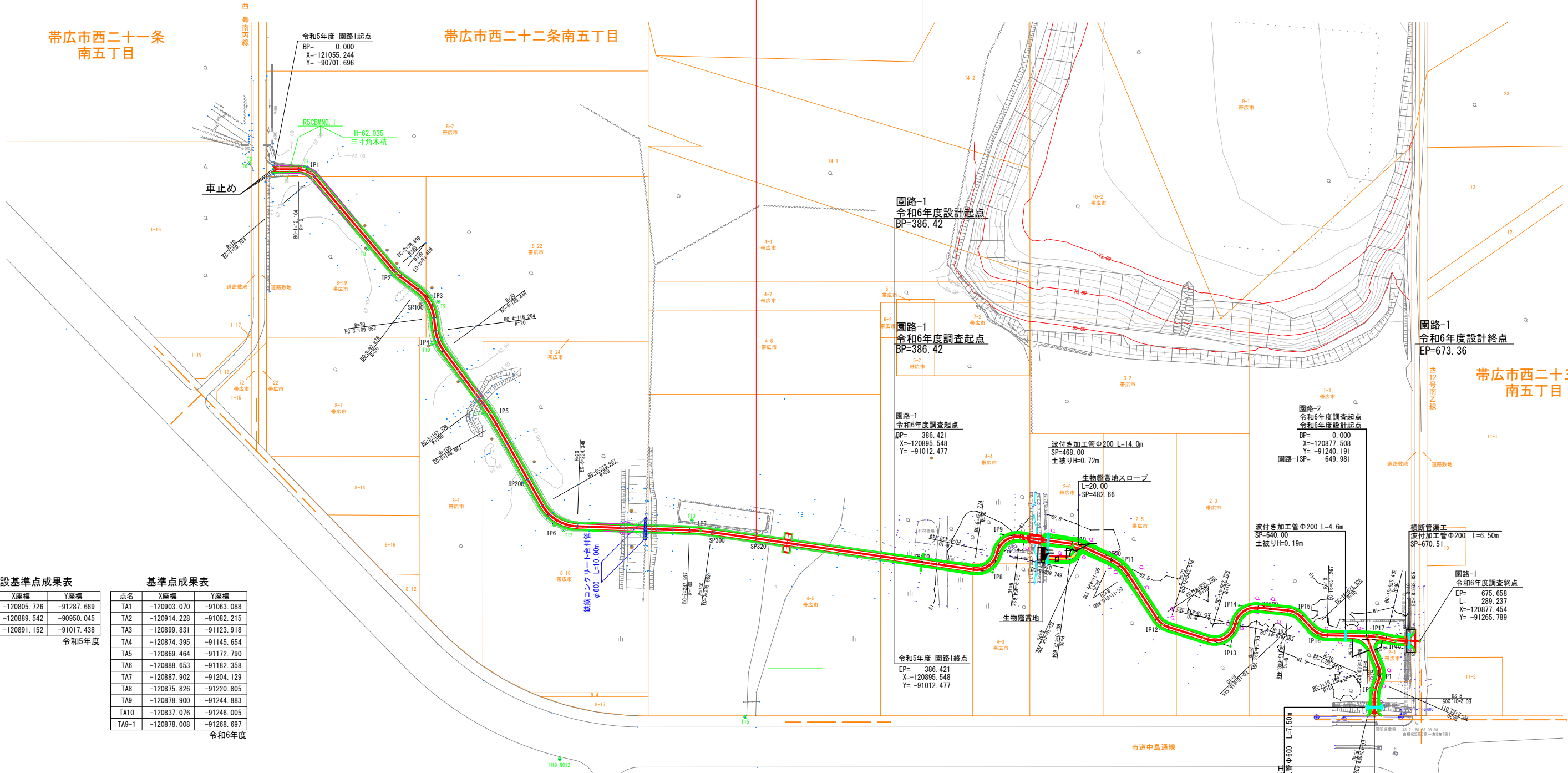
帯広市西二十三条  
南五丁目

帯広市西二十二条南四丁目

令和8年度工事起点  
SP= 320.00

令和8年度工事終点  
SP= 400.00

L=80.00m、W=3.00m



既設基準点成果表

点名	X座標	Y座標
H19-N013	-120805.726	-91287.689
T14	-120889.542	-90950.045
T16	-120891.152	-91017.438

基準点成果表

点名	X座標	Y座標
TA1	-120903.070	-91063.088
TA2	-120914.228	-91082.215
TA3	-120899.831	-91123.918
TA4	-120874.395	-91145.654
TA5	-120869.464	-91172.790
TA6	-120888.653	-91182.358
TA7	-120887.902	-91204.129
TA8	-120875.826	-91220.805
TA9	-120878.900	-91244.883
TA10	-120837.076	-91246.005
TA9-1	-120878.008	-91268.697

【園路①-1】

曲線表

IPNo	BP	IP8(L)	IP9(R)	IP10(R)	IP11(R)	IP12(L)	IP13(L)	IP14(R)	IP15(R)	IP16(L)	IP17(R)	IP18(L)	EP
IA	85-48-06	85-13-39	17-24-43	31-52-13	39-25-09	95-16-26	83-38-14	40-53-41	45-26-38	12-17-28	13-29-49		
R	10.000	10.000	20.000	20.000	10.000	10.000	10.000	10.000	10.000	40.000	40.000		
TL	9.293	9.200	3.063	5.710	3.582	10.966	8.947	3.728	4.188	4.307	4.733		
CL	14.975	14.875	6.078	11.125	6.880	16.628	14.597	7.137	7.931	8.581	9.423		
SL	3.651	3.588	0.233	0.799	0.622	4.841	3.418	0.672	0.841	0.231	0.279		
BC	386.421	424.774	439.749	479.624	499.735	535.738	562.725	579.353	608.448	623.336	650.822	659.402	675.658
EC		439.749	454.624	485.702	510.860	542.618	579.353	593.951	615.585	631.267	659.402	668.825	
X	-120895.548	-120911.182	-120909.441	-120901.607	-120874.695	-120867.170	-120886.923	-120886.494	-120876.052	-120877.835	-120860.277	-120840.152	-120877.454
Y	-91012.477	-91060.046	-91062.444	-91099.665	-91121.084	-91142.140	-91175.968	-91178.487	-91205.656	-91217.335	-91245.327	-91254.264	-91265.789

【園路①-2】

曲線表

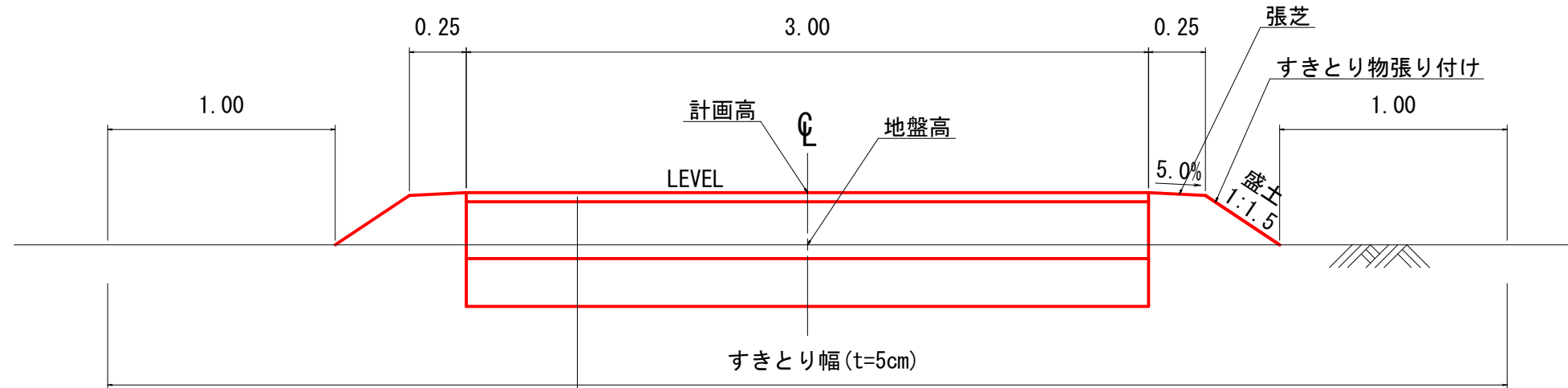
IPNo	BP	IP1(R)	IP2(L)	EP
IA	45-16-33	23-28-08		
R	10.000	20.000		
TL	4.170	4.154		
CL	7.902	8.192		
SL	0.835	0.427		
BC	0.000	15.109	23.011	39.329
EC		23.011	31.205	
X	-120877.508	-120860.277	-120852.387	-120840.152
Y	-91240.191	-91248.839	-91246.180	-91247.217

年度	令和8年度
公園名	帯広の森
工事名	帯広の森園路整備工事(西11~12号間)
図面名	計画平面図
縮尺	1:1000 図面番号 1
設計年月	令和7年1月
設計者名	株式会社 土木技術コンサルタント
北海道帯広市	



# 土工定規図

S=1:20

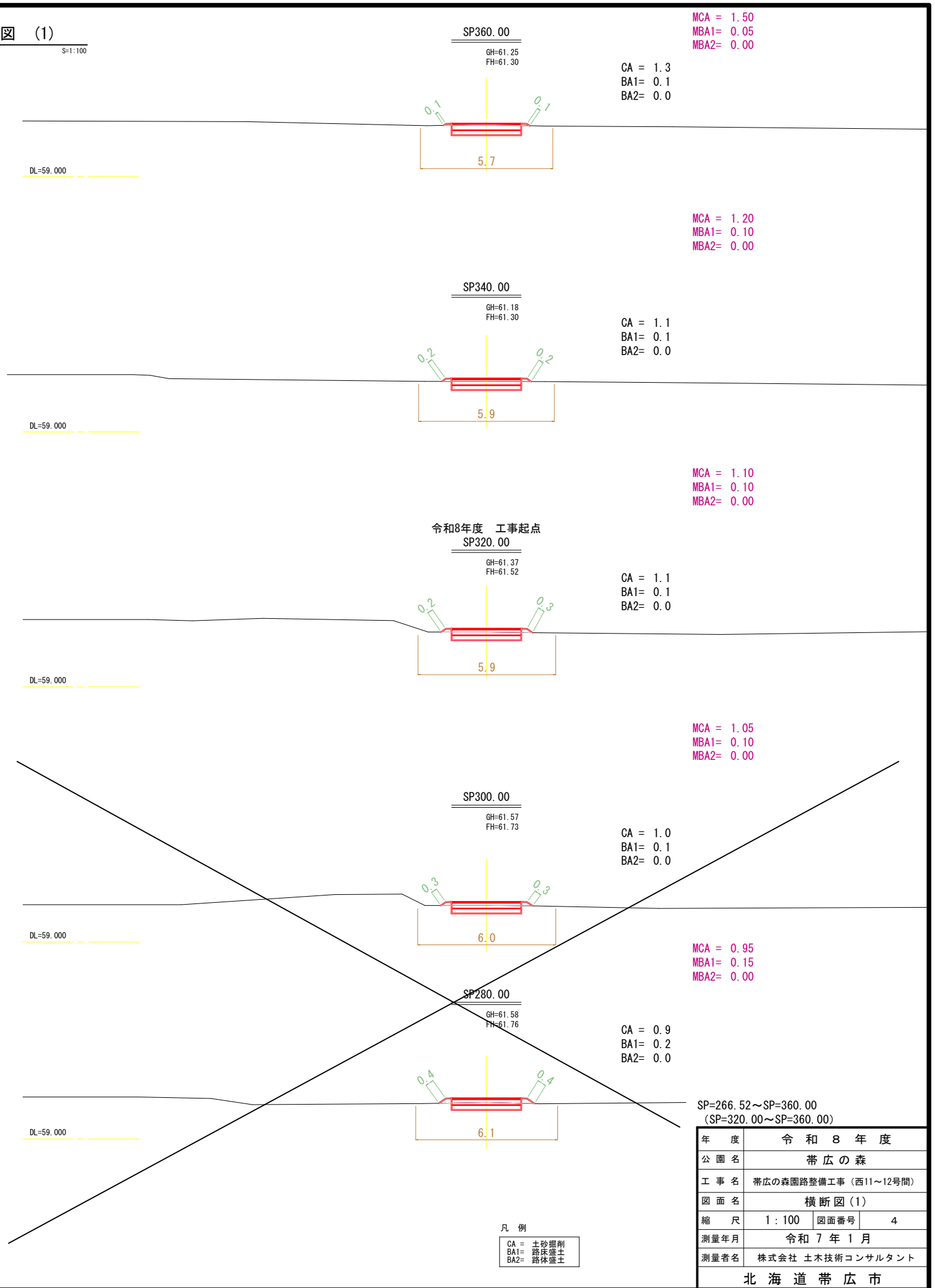
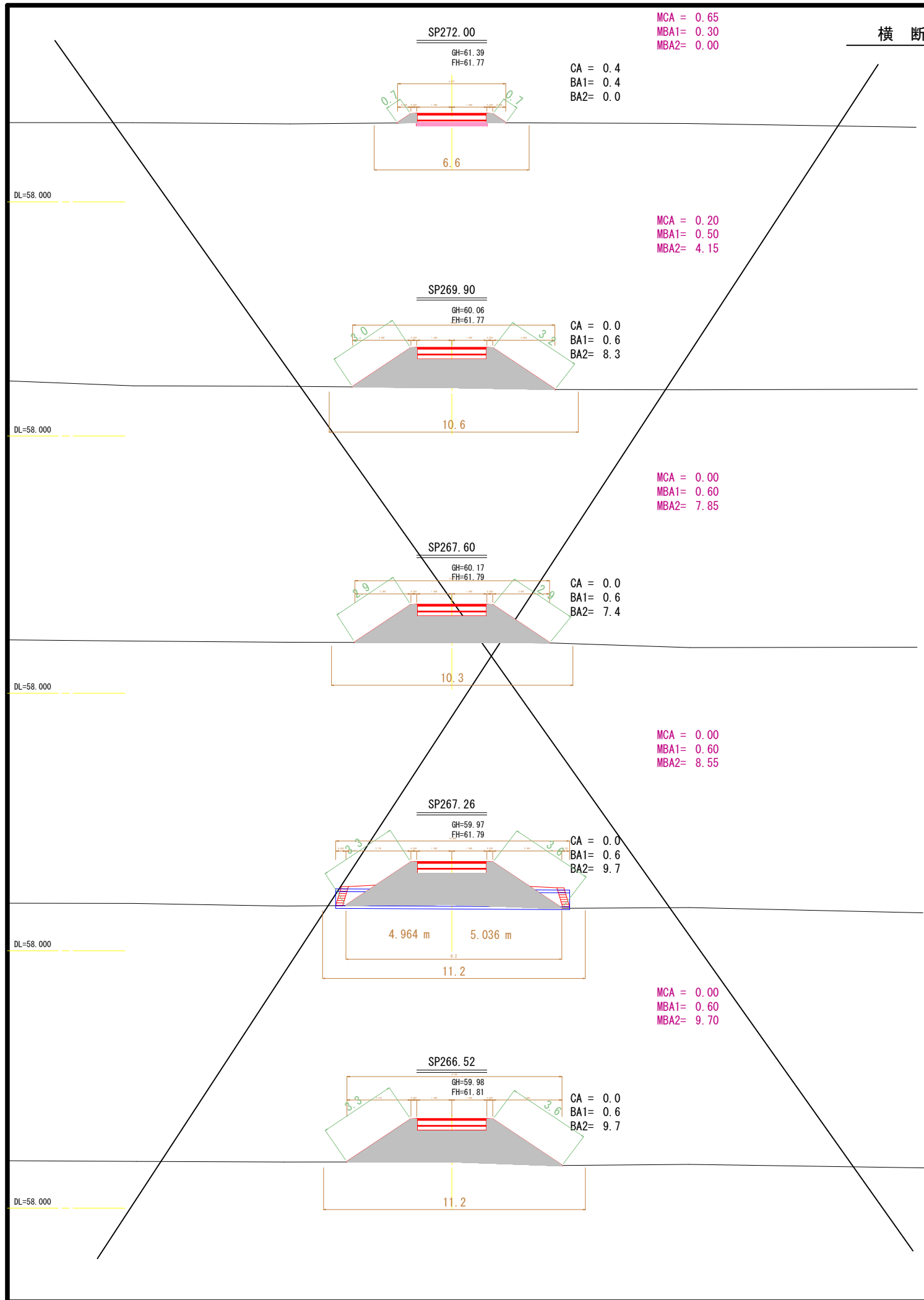


表層(ダスト舗装)	t= 4cm
下層路盤工(再生骨材40mm級)	t=25cm
凍上抑制層(再生骨材80mm級)	t=21cm
	Σ t=50cm

年度	令和 8 年度		
公園名	帯広の森		
工事名	帯広の森園路整備工事(西11~12号間)		
図面名	土工定規図		
縮尺	1:20	図面番号	3
測量年月	令和 7 年 1 月		
測量者名	株式会社 土木技術コンサルタント		
北海道帯広市			

横断図 (1)

S=1:100



SP=266.52~SP=360.00  
(SP=320.00~SP=360.00)

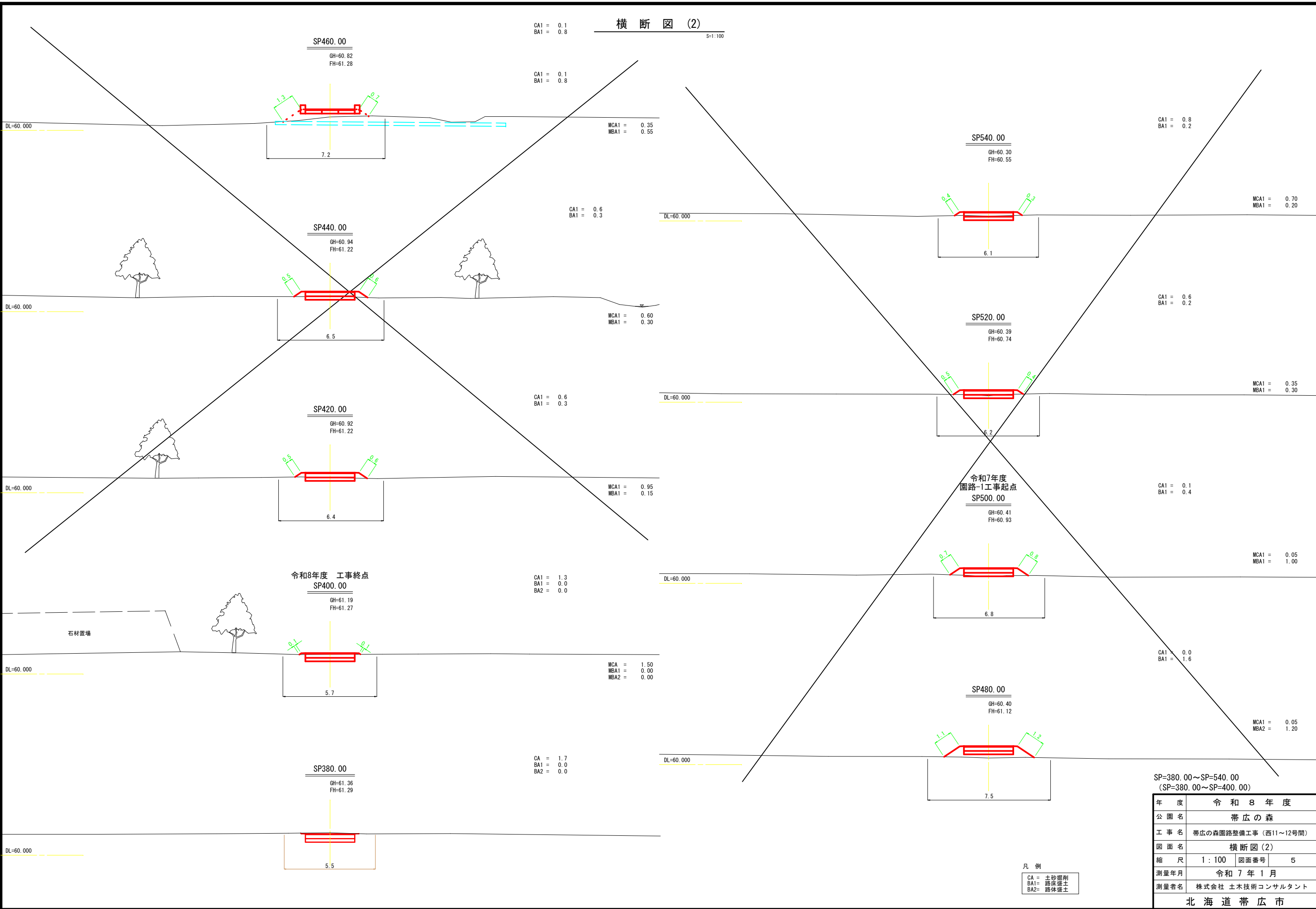
凡例

- CA = 土砂掘削
- BA1= 路床盛土
- BA2= 路体盛土

年度	令和8年度		
公園名	帯広の森		
工事名	帯広の森園路整備工事(西11~12号間)		
図面名	横断図(1)		
縮尺	1:100	図面番号	4
測量年月	令和7年1月		
測量者名	株式会社 土木技術コンサルタント		
北海道帯広市			

横断図 (2)

S=1:100



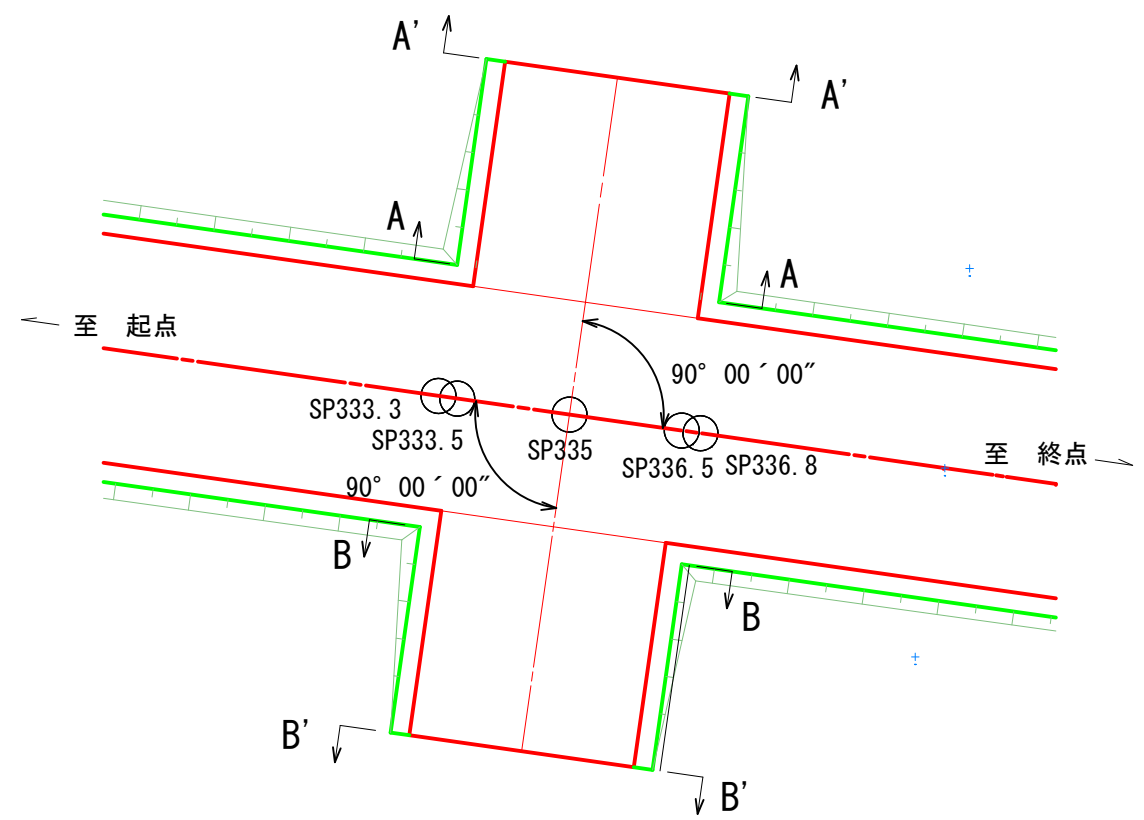
凡例  
 CA = 土砂掘削  
 BA1 = 路床盛土  
 BA2 = 路体盛土

SP=380.00~SP=540.00  
(SP=380.00~SP=400.00)

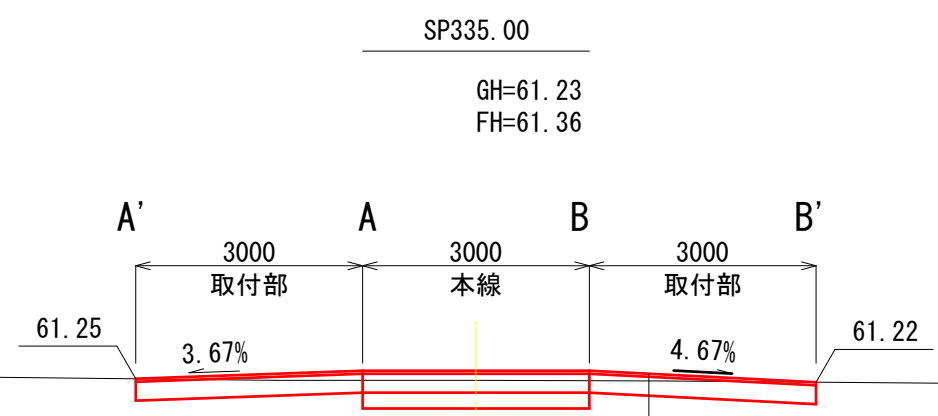
年度	令和8年度		
公園名	帯広の森		
工事名	帯広の森園路整備工事(西11~12号間)		
図面名	横断図(2)		
縮尺	1:100	図面番号	5
測量年月	令和7年1月		
測量者名	株式会社 土木技術コンサルタント		
北海道帯広市			

# 取付部設計図

平面図  
S=1:50



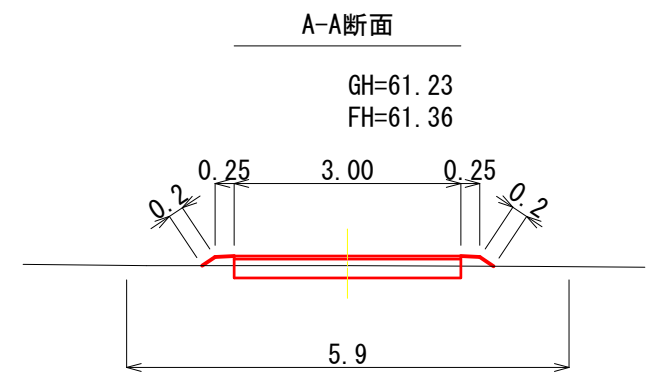
側面図  
S=1:50



表層 (ダスト舗装) t=4cm  
下層路盤 (再生骨材40mm級) t=25cm

DL=59.000

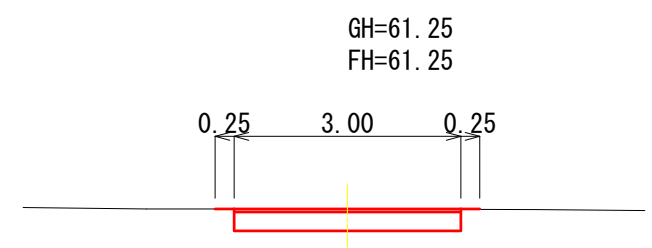
横断面  
S=1:50



CA = 0.5  
BA1 = 0.1

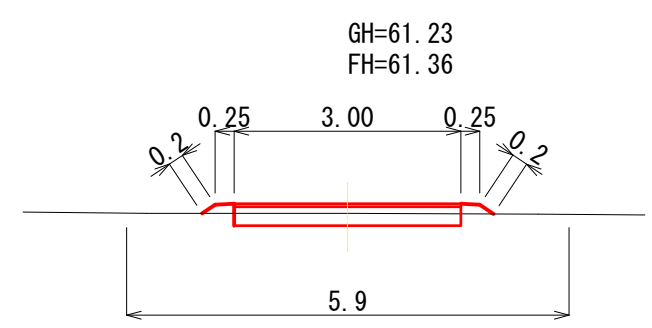
MCA = 0.70  
MBA1 = 0.05

A'-A'断面



CA = 0.9  
BA1 = 0.0

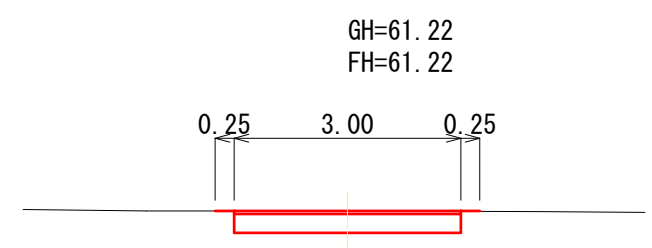
B-B断面



CA = 0.5  
BA1 = 0.1

MCA = 0.70  
MBA1 = 0.05

B'-B'断面



CA = 0.9  
BA1 = 0.0

年度	令和8年度
公園名	帯広の森
工事名	帯広の森園路整備工事 (西11~12号間)
図面名	取付部設計図
縮尺	図示 図面番号 6
測量年月	令和7年1月
測量者名	株式会社 土木技術コンサルタント
北海道帯広市	